

TASCAM

D01217101B

CD-RW901 MKII

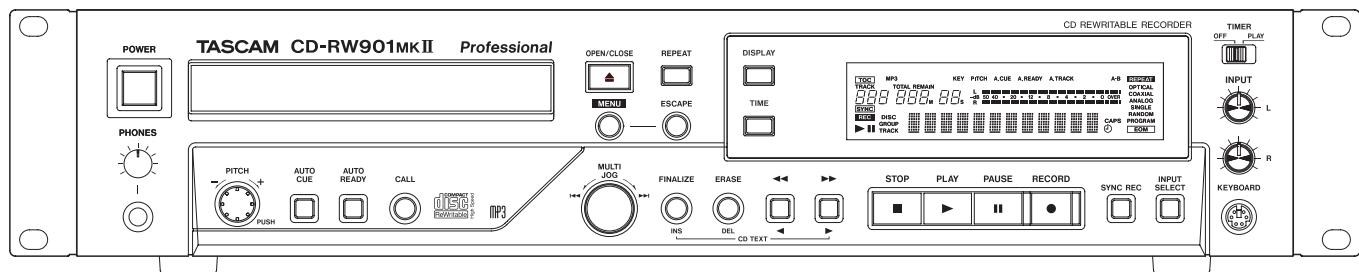
CD Rewritable Recorder

Professional

取扱説明書

COMPACT
disc
ReWritable

MP3



安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	
	<p>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 電源プラグをコンセントから抜く	<p>万一、異常が起きたら 煙が出た、変なにおいや音がするときは 機器の内部に異物や水などが入ったときは この機器を落とした、カバーを破損したときは すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に修理をご依頼ください。</p>
 指示	<p>電源プラグにほこりをためない 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的（年1回くらい）に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</p>
 禁止	<p>電源コードを傷つけない 電源コードの上に重い物を載せたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら（芯線の露出、断線など）、販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）に交換をご依頼ください。</p> <p>付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。</p> <p>交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し（20cm以上）離して設置する ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10cm以上の隙間を空ける隙間を空けないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込む、または落とさない 火災・感電の原因となります。</p> <p>この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</p>
 禁止	<p>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</p>

	警告	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この機器のカバーは絶対に外さない カバーを外す、または改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご依頼ください。	
分解禁止	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。	
	注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外す コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けたけがの原因になることがあります。	
電源プラグをコンセントから抜く	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。	
	オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続する また、接続は指定のコードを使用する	
指示	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。	
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。	
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。	
	ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない 湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たる場所に置かない 火災・感電やけがの原因となることがあります。	
禁止	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。	
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。	
禁止		
	5年に1度は、機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。 内部にほこりがたまつまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については、ご相談ください。	
注意		

目次

安全にお使いいただくために	2
第1章 はじめに	5
本製品の構成	5
本書の表記	5
商標および著作権に関して	5
設置上の注意	5
電源について	6
結露について	6
製品のお手入れ	6
CD (コンパクトディスク) について	6
取り扱い上の注意	6
CD-RとCD-RW	6
ファイナライズとは	6
ユーザー登録について	6
アフターサービス	7
第2章 各部の名称と働き	8
フロントパネル	8
リアパネル	10
ディスプレー	11
ワイヤードリモコン (TASCAM RC-RW901)	12
オーディオ信号の接続	13
第3章 メニューモードの操作	14
メニューの構成	14
メニュー操作の基本	15
第4章 再生	16
再生可能なディスクについて	16
再生の基本操作	16
選曲	16
スキップ	16
トラック番号の指定選曲	16
トラックのサーチ	17
通常のサーチ	17
ダイレクトサーチ	17
インデックスのサーチ	18
タイムスキップ	18
再生モード	19
再生モードを選択する	19
連続再生	19
シングル再生	19
プログラム再生	19
ランダム再生	20
時間表示の切り換え	20
外部同期再生	21
タイマーレコード	21
リピート再生	22
通常のリピート再生	22
A-Bリピート再生	22
ピッチコントロール再生	23
キークリップ	23
MP3ファイルの再生	24
全てのMP3ファイルを再生する	24
ディレクトリを指定して再生する	24
ディレクトリ再生について	24
ディレクトリ再生の設定	25
MP3 ACTIONの設定	25
オートキュー機能	25
オートレディ機能	26
インクリメンタルプレー機能	26
コール機能	26
EOM機能	27
ISRC (International Standard Recording Code) 表示	27
RID (Recorder Identification Data) 表示	27
第5章 録音	28
録音する前に	28
入力信号の選択	28
サンプリングレートコンバーターを使用する	28
入力信号の調節	28
入力信号のモニター	29
録音の基本操作	29
時間表示の切り換え	30
フェードイン／アウト	30
シンク録音	30
オートトラック録音	31
トラック番号を手動で更新する	32
インデックス番号を手動で更新する	32
レックミュート	33
録音トラック数の指定	33
コピー ID の設定	33
連続録音 (CONT REC)	33
第6章 CD-R/CD-RWディスクの各種操作	34
ファイナライズ	34
アンファイナライズ	34
リフレッシュ	35
ディスクの消去	35
トラックの消去	35
第7章 名前を付ける	36
ディスクに名前を付ける	36
トラックに名前を付ける	36
第8章 コンピュータキーボードを使った操作	37
キーボードタイプの設定	37
キーボードを使って名前を入力する	37
キーボード操作一覧	37
第9章 通信設定	38
第10章 メッセージ一覧	39
エラーメッセージ	39
動作時のメッセージ	39
第11章 トラブルシューティング	40
第12章 仕様	41
定格	41
オーディオ性能	41
入出力定格	41
アナログ入力	41
アナログ出力	41
デジタル入力	41
デジタル出力	41
コントロール入出力	41
一般	42
寸法図	42

このたびは、TASCAM CD Rewritable Recorder CD-RW901MKIIをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申しあげます。お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト (<http://tascam.jp/>) からダウンロードすることができます。

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。

なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、弊社までご連絡ください。

● 本体	x1
● 電源コード	x1
● ワイヤードリモコン (TASCAM RC-RW901)	x1
● ラックマウントビスケット	x1
● 取扱説明書 (本書、保証書付き)	x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機のボタン／端子などを「MENUボタン」のように太字で表記します。
- ディスプレーに表示される文字を TRACK のように表記します。
- 「CD-DA」形式のことを「オーディオCD」形式と表記する場合があります。
- MP3ファイルを記録したCDを「MP3ディスク」と表記します。
- 「オーディオCD」、「MP3ディスク」を総称して、「CD」と表記する場合があります。
- 必要に応じて追加情報を、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

ヒント

本機をこのように使うことができる、といったヒントを記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権について

- TASCAMおよびタスカムは、ティック株式会社の登録商標です。
- MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

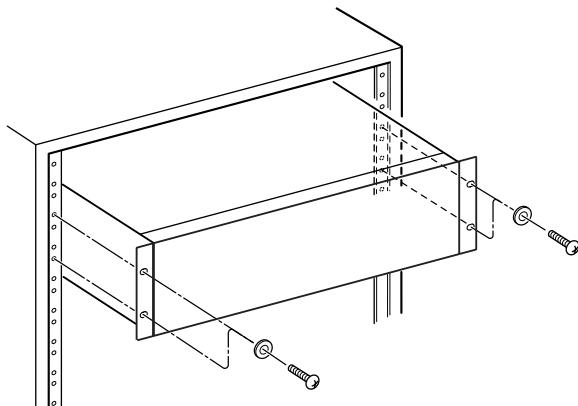
ここに記載されております製品に関する情報、諸データは、あくまで一例を示すものであり、これらに関する第三者的知的財産権、およびその他の権利に対して、権利侵害がないことの保証を示すものではありません。従いまして、上記第三者的知的財産権の侵害の責任、またはこれらの製品の使用により発生する責任につきましては、弊社はその責を負いかねますのでご了承ください。

第三者の著作物は、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。装置の適正使用をお願いします。

弊社では、お客様による権利侵害行為につき一切の責任を負担いたしません。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏5度～35度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。
 - 振動の多い場所
 - 窓際などの直射日光が当たる場所
 - 暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
 - 極端に温度が低い場所
 - 湿気の多い場所や風通しが悪い場所
 - ほこりの多い場所
- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。
- 本機をラックにマウントする場合は、付属のラックマウントビスを使って、下図のように取り付けてください。なお、ラック内部では、本機の上に1U以上のスペースを空けてください。



第1章 はじめに

電源について

- 付属の電源コードをAC IN端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V (50-60Hz) 以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。結露したときは、約1~2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。

CD（コンパクトディスク）について

本機は、市販の音楽CDの他に、オーディオCD（CD-DA）形式で記録したCD-RやCD-RW、MP3オーディオファイルを記録したCD-RやCD-RWを再生することができます。また、8cmCDの再生も可能です。

取り扱い上の注意

- 録音には、以下のマークがあるコンパクトディスクをお使いください。

CD-R

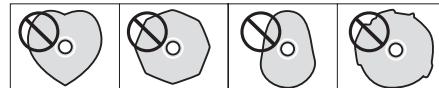


CD-RW



- ディスクは、必ずレーベル面を上にして挿入してください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手で挟むように持ってください。
- 信号記録面（レーベルがない面）には、触れないでください。指紋や脂などが付着していると、再生するときにエラーの原因になることがあります。
- 信号記録面に指紋やほこりが付いた場合は、柔らかい布を使って中心から外側に向かって軽く拭いてください。
ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。
- ディスクの清掃に、レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどの化学薬品を使用することは絶対お止めください。表面が変質して再生不能になる恐れがあります。

- ディスクにラベルなどを貼ることはおやめください。盤面にセロハンテープやレンタルCDのシールなどをはがした跡があるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にセットすると、ディスクが取り出せなくなる、または故障の原因となることがあります。
- 市販のCD用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できない、または故障の原因になります。
- ヒビが入ったディスクは使用しないでください。
- ハート形や名刺形、八角形など特殊形状のCDは、機器の故障の原因になりますので使用しないでください。



- いくつかのレコード会社より「コピーコントロールCD」と銘打った著作権保護を目的としたディスクが販売されています。これらはCD規格に準拠していないディスクも存在するため、本機で再生できない場合があります。

CD-RとCD-RW

CD-Rには、一度だけしか記録できません。記録したトラック（曲）を消去することもできません。ただし、ファイナライズ処理を施していないディスクで、ディスクの記録可能時間が残っている場合は、追加記録が行えます。記録が終わったCD-Rは、ファイナライズ処理を施することで、一般的のCDプレーヤーでも再生できるようになります（一部のCDプレーヤーでは、再生できないことがあります）。CD-RWは、記録可能容量を使いきった場合でも、記録内容を消去すれば繰り返し使用することができます。

途中の曲だけを消去することはできません。

CD-RWは、ファイナライズ処理を施しても、CD-RWに対応したCDプレーヤーでしか再生できません。

ファイナライズとは

CD-RやCD-RWは、音声データを録音した後でも、最終的なTOC*の情報をディスクに記録しなければ、一般的のCDプレーヤーで再生することはできません。このTOCを記録することをファイナライズといいます。

ファイナライズしたディスクには、それ以上録音することができません。ただしCD-RWの場合は、アンファイナライズすれば再び録音することができます。

* TOC (Table of Contents) = 録音したデータの情報

ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。

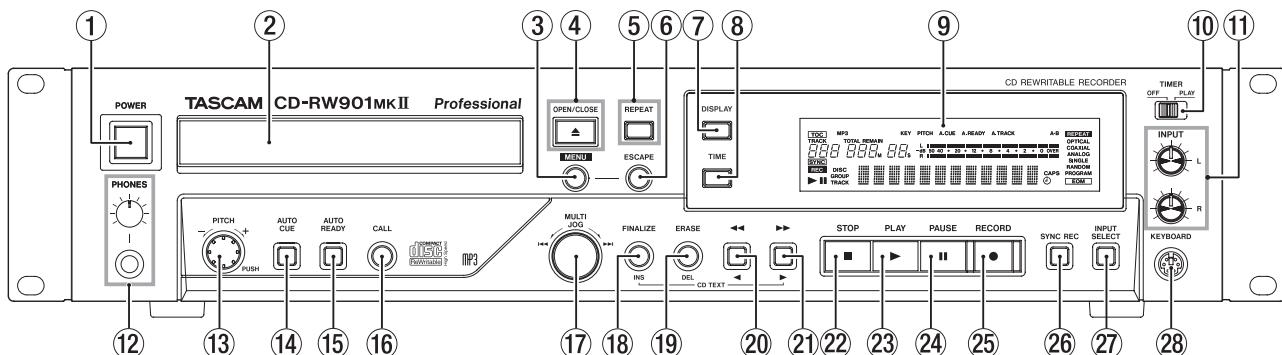
<http://tascam.jp/support/registration/>

アフターサービス

- この製品には、保証書が添付（裏表紙に記載）されております。保証書は、所定事項を記入してお渡ししていますので、大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物と一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティック修理工場（裏表紙に記載）が無償修理いたします。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティック修理工場（裏表紙に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティック修理工場（裏表紙に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
 - 型名、型番（CD-RW901MKII）
 - 製造番号（Serial No.）
 - 故障の症状（できるだけ詳しく）
 - お買い上げ年月日
 - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

第2章 各部の名称と働き

フロントパネル



① POWERスイッチ

電源をオン／オフします。

② ディスクトレー

OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレーを開け、ディスクのセット／取り出しを行います。

ディスクトレーを閉じるときは、OPEN/CLOSEボタンを押します。

③ MENUボタン

各種メニューを操作するメニュー mode に切り替えます。（→ 14ページ「第3章 メニューモードの操作」）

④ OPEN/CLOSEボタン

ディスクトレーを開閉します。

⑤ REPEATボタン

リピート再生機能のオン／オフを切り替えます。

⑥ ESCAPEボタン

メニュー mode 時、メニュー項目をキャンセルします。

⑦ DISPLAYボタン

停止中にこのボタンを押すと、現在のディスクタイトルがディスプレーに表示され、再生中（または一時停止中）に押すと、現在のトラックタイトルが表示されます。

⑧ TIMEボタン

ディスプレーに表示される時間モードを切り替えます。

⑨ ディスプレー

メニュー や現在の動作状態を表示します。

⑩ TIMERスイッチ

タイマープレ（→ 21ページ）のオン／オフを切り替えます。

⑪ INPUT L／Rつまみ

アナログ入力信号を録音するときの入力レベルを調節します。（L／Rチャンネル独立）

⑫ PHONES端子／PHONESつまみ

ステレオヘッドホンを接続します。

ヘッドホンの音量は、上側のつまみで調節します。

⑬ PITCHつまみ

このつまみを回すと、ピッチコントロール値（±16.0%）が設定されます。つまみを押すと、ピッチコントロール再生のオン／オフを切り替えます。

⑭ AUTO CUEボタン

オートキューモードのオン／オフを切り替えます。

⑮ AUTO READYボタン

オートレディモードのオン／オフを切り替えます。

⑯ CALLボタン

最後に一時停止状態から再生を開始したポイント（コールポイント）にロケートして一時停止状態になります。（→ 26ページ「コール機能」）

録音時、手動でインデックス番号を付けるときにも使用します。

⑰ MULTI JOGダイヤル

トラックの選択や設定値の変更に使用します。また、このダイヤルを押すと、ENTERボタンとして動作し、選択したメニュー や変更した設定値が確定します。

⑱ FINALIZE [INS] ボタン

ディスクのファイナライズ操作を行います。（→ 34ページ「ファイナライズ」）

テキスト入力時には、カーソル位置にスペースを挿入します。

再生中（または一時停止中）に押すと、ISRCコードを表示します。

⑲ ERASE [DEL] ボタン

CD-RWディスク使用時には、トラックやディスクの消去などを行えます。また、テキスト入力時には、カーソル位置にある文字を削除します。

再生中（または一時停止中）に押すと、RIDコードを表示します。

⑳ ▶◀ [◀▶] ボタン

再生中（または一時停止中）に押し続けると、レビュー再生（サーチ）を行います。

SKIP MODEが Index の場合、再生中（または一時停止中）に押すと、インデックスサーチを行います。

SKIP MODEが Time の場合、再生中（または一時停止中）に押すと、1分前のポイントにスキップします。

ディレクトリ再生がオンの場合、停止中に押すと、ディレクトリを選択できます。また、テキスト入力時には、カーソル位置を左に移動させます。

㉑ ▶▶ [▶▶] ボタン

再生中（または一時停止中）に押し続けると、キューレイテン（サーチ）を行います。

SKIP MODEが Index の場合、再生中（または一時停止中）に押すと、インデックスサーチを行います。

SKIP MODEが Time の場合、再生中（または一時停止中）に押すと、1分後のポイントにスキップします。

ディレクトリ再生がオンの場合、停止中に押すと、ディレクトリを選択できます。また、テキスト入力時には、カーソル位置を右に移動させます。

② STOPボタン

録音や再生を停止します。

③ PLAYボタン

録音や再生を開始します。

④ PAUSEボタン

録音や再生を一時停止します。

⑤ RECORDボタン

録音待機状態にします。また、手動でトラック番号を付けるときにも使用します。(→ 32ページ「トラック番号を手動で更新する」)

⑥ SYNC RECボタン

シンク録音(→ 30ページ)のオン／オフを切り替えます。

外部同期再生オンの場合、停止、再生、一時停止中に押すと、48kFsアジャスト機能のオン／オフが切り換わります。(→ 21ページ「外部同期再生」)

⑦ INPUT SELECTボタン

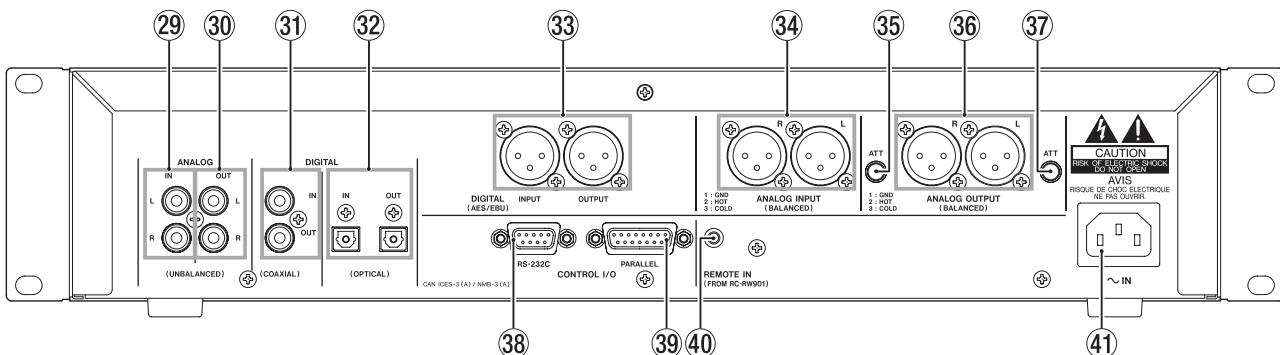
録音ソースとなる入力端子を選択します。

⑧ KEYBOARD端子

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを接続します。

初期設定は、英語用キーボード用に設定されています。英語用キーボードは日本語用のキーボードと配列が異なるため、日本語用キーボードを使う場合には、メニューで設定を変更してください。(→ 37ページ「キーボードタイプの設定」)

リアパネル



- ②⁹ ANALOG IN L / R (UNBALANCED) 端子**
アナログ入力端子 (RCAピンジャック) です。
規定入力レベルは、-10dBVです。
- ⑩ ANALOG OUT L / R (UNBALANCED) 端子**
アナログ出力端子 (RCAピンジャック) です。
規定出力レベルは、-10dBVです。
- ⑪ DIGITAL IN / OUT (COAXIAL) 端子**
IEC-60958 (コンシユーマユース) に準拠したデジタル入力／出力端子です。
- ⑫ DIGITAL IN / OUT (OPTICAL) 端子**
IEC-60958 (コンシユーマユース) に準拠したデジタル入力／出力端子です。
- ⑬ DIGITAL INPUT / OUTPUT (AES/EBU) 端子**
IEC-60958 (プロユース) に準拠したデジタル入力／出力端子です。
- ⑭ ANALOG INPUT L / R (BALANCED) 端子**
アナログ入力端子 (XLRバランス) です。
規定入力レベルは、+4dBuです。
(1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
- ⑮ ATTコントロール R**
ANALOG OUTPUT R (BALANCED) 端子から出力する信号レベルを-10dBまで減衰できます。
- ⑯ ANALOG OUTPUT L / R (BALANCED) 端子**
アナログ出力端子 (XLRバランス) です。
規定出力レベルは、+4dBuです。
(1 : GND, 2 : HOT, 3 : COLD)
- ⑰ ATTコントロール L**
ANALOG OUTPUT L (BALANCED) 端子から出力する信号レベルを-10dBまで減衰できます。
- ⑱ CONTROL I/O (RS-232C) 端子**
D-SUB 9ピンのRS-232Cコントロール用I/O端子です。
外部のパソコンなどを接続します。

- ⑲ CONTROL I/O PARALLEL端子**
D-SUB15ピンのパラレルコントロール用I/O端子です。
外部のコントローラーと接続します。

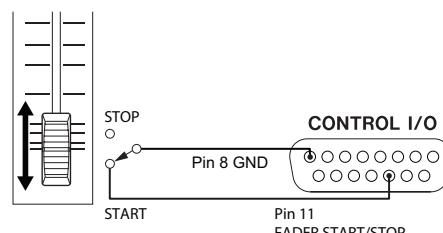
ピン番号	内容	IN / OUT
1	STOP Tally	OUT
2	REC Tally	OUT
3	SKIP (Forward)	IN
4	SKIP (Back)	IN
5	EOM Tally	OUT
6	REC	IN
7	CAL	IN
8	GND	-
9	PLAY Tally	OUT
10	PAUSE Tally	OUT
11	FADER START / STOP	-
12	STOP	IN
13	PLAY	IN
14	PAUSE	IN
15	+5V*	-

In : 外部コマンド受信アクティブロー
(グランド30ms以上で動作)

Out : オープンコレクターによるトランスポートステータス表示用信号 (最大電圧15V、最大電流50mA)

*最大供給電流50mA

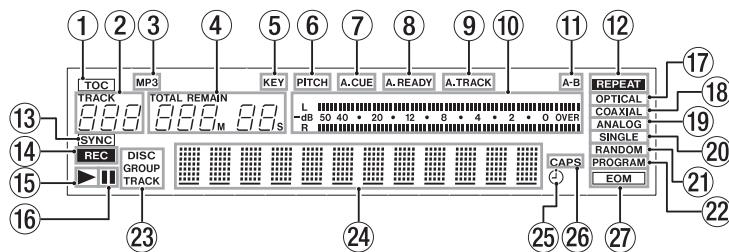
フェーダースタート／ストップ



- ⑲ REMOTE IN端子**
専用リモコンRC-RW901と接続します。

- ⑳ AC IN端子**
付属の電源コードを接続します。

ディスプレー



ディスプレーには、デッキの動作モード、メニュー、CDのディスク情報などの様々な情報が表示されます。

① TOC

TOC情報が書き込まれたディスクがセットされているときに赤く点灯します。

② トラック番号表示

再生中／選択中のトラック番号を表示します。

インクリメンタルプレー機能がオンの場合、再生中（または一時停止中）に TRACK インジケーターが点滅します。

③ MP3

MP3ディスクがセットされているときに点灯します。

④ カウンター表示

時間表示モードに応じて TOTAL 、 REMAIN が点灯／消灯します。カウンター表示は、分（3桁）秒（2桁）です。

⑤ KEY

キーコントロール機能がオンのときに点灯します。

⑥ PITCH

ピッチコントロール機能がオンのときに点灯します。

⑦ A.CUE

オートキューポイント機能がオンのときに点灯します。

⑧ A.READY

オートレディ機能がオンのときに点灯します。

⑨ A.TRACK

オートトラック機能がオンのときに点灯します。

⑩ レベルメーター

再生レベル、および接続機器の入力レベルを表示します。

⑪ A-B

A-Bリピート機能がオンのときに点灯します。また、Bポイントが設定されるまで点滅します。

⑫ REPEAT

リピート機能がオンのときに点灯します。

⑬ SYNC

SYNC録音機能がオンのときに点灯します。

⑭ REC

録音または録音待機中、SRC機能がオンのときに点灯します。また、録音または録音待機中、SRC機能がオフのときに点滅します。

⑯ ▶ (PLAY) インジケーター

再生中に点灯します。

オートキューポイントサーチ中は、点滅します。

⑰ II (PAUSE) インジケーター

一時停止中、または録音待機中に点灯します。

⑱ OPTICAL

入力ソースがOPTICALに設定されているときに点灯します。

⑲ COAXIAL

入力ソースがCOAXIALに設定されているときに点灯します。

⑳ ANALOG

入力ソースがUNBALANCEに設定されているときに点灯します。また、入力ソースがBALANCEに設定されているときに点滅します。

㉑ SINGLE

シングル再生モードに設定されているときに点灯します。

㉒ RANDOM

ランダム再生モードに設定されているときに点灯します。

㉓ PROGRAM

プログラム再生モードに設定されているときに点灯します。

㉔ DISC / GROUP / TRACK

ディスクがセットされていて、停止中のときに DISC が点灯します。

ディレクトリ再生モードがオンのときに GROUP が点灯します。

再生／一時停止／録音／録音待機中のときに TRACK が点灯します。

㉕ Ⓛ (TIMER) インジケーター

タイマープレー機能がオンのときに点灯します。

㉖ CAPS

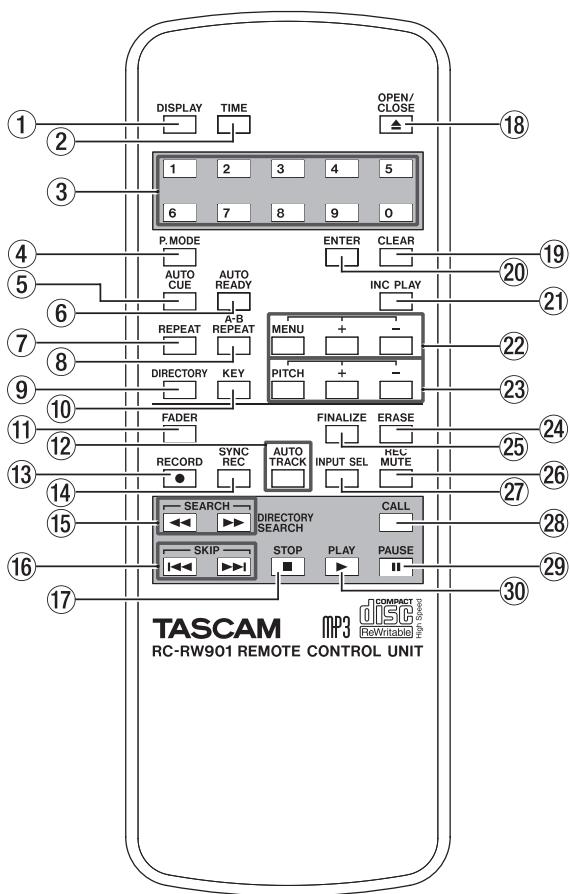
タイトル入力時にCAPSモードがオンのときに点灯します。小文字のときは、何も点灯しません。

㉗ EOM

トラック／ディスクの残り時間がEOM設定値以下になったときに点滅します。

第2章 各部の名称と働き

ワイヤードリモコン (TASCAM RC-RW901)



- ① **DISPLAYボタン**
フロントパネルのDISPLAYボタンと同じ動作です。
- ② **TIMEボタン**
フロントパネルのTIMEボタンと同じ動作です。
- ③ **数字ボタン（1～9ボタン、0ボタン）**
トラック番号を入力したり、プログラム再生を設定したりするのに利用します。
- ④ **P.MODEボタン**
再生モード (→ 19ページ) の切り換えを行います。
- ⑤ **AUTO CUEボタン**
フロントパネルのAUTO CUEボタンと同じ動作です。
- ⑥ **AUTO READYボタン**
フロントパネルのAUTO READYボタンと同じ動作です。
- ⑦ **REPEATボタン**
フロントパネルのREPEATボタンと同じ動作です。
- ⑧ **A-B REPEATボタン**
A-Bリピート再生 (→ 22ページ) の操作に使用します。
- ⑨ **DIRECTORYボタン**
MP3ファイルのディレクトリ再生 (→ 25ページ) のオン／オフを切り換えます。
- ⑩ **KEYボタン**
キーコントロール機能のオン／オフを切り換えます。
- ⑪ **FADERボタン**
録音中に、フェードイン／フェードアウトを行います。(→ 30ページ「フェードイン／アウト」)

- ⑫ **AUTO TRACKボタン**
オートトラックモードの切り換えを行います。
- ⑬ **RECORDボタン**
フロントパネルのRECORDボタンと同じ動作です。
- ⑭ **SYNC RECボタン**
フロントパネルのSYNC RECボタンと同じ動作です。
- ⑮ **SEARCH (◀◀ / ▶▶) ボタン**
フロントパネルの◀◀ [◀] / ▶▶ [▶] ボタンと同じ動作です。
- ⑯ **SKIP (◀◀◀ / ▶▶▶) ボタン**
フロントパネルのMULTI JOGダイヤルを回したときと同じ動作です。
- ⑰ **STOPボタン**
フロントパネルのSTOPボタンと同じ動作です。
- ⑱ **OPEN/CLOSEボタン**
フロントパネルのOPEN/CLOSEボタンと同じ動作です。
- ⑲ **CLEARボタン**
数字ボタン (1～9ボタン、0ボタン) で入力した数字を取り消します。
プログラム時、最後に登録したプログラムを削除します。メニュー mode 時、本体のESCAPEボタンと同じ動作です。
- ⑳ **ENTERボタン**
フロントパネルのMULTI JOGダイヤルを押したときと同じ動作です。
- ㉑ **INC PLAYボタン**
インクリメンタルプレー機能のオン／オフを切り換えます。
- ㉒ **MENU (+/-) ボタン**
メニュー mode のオン／オフの切り換え、およびメニュー項目の選択を行います。
- ㉓ **PITCH (+/-) ボタン**
フロントパネルのPITCHつまみを押したとき、または回したときと同じ動作です。
- ㉔ **ERASEボタン**
フロントパネルのERASE [DEL] ボタンと同じ動作です。
- ㉕ **FINALIZEボタン**
フロントパネルのFINALIZE [INS] ボタンと同じ動作です。
- ㉖ **REC MUTEボタン**
約4秒間の無音録音を行います。
無音録音終了後は、録音一時停止状態になります。(→ 33ページ「レックミュート」)
- ㉗ **INPUT SELボタン**
フロントパネルのINPUT SELECTボタンと同じ動作です。
- ㉘ **CALLボタン**
フロントパネルのCALLボタンと同じ動作です。
- ㉙ **PAUSEボタン**
フロントパネルのPAUSEボタンと同じ動作です。
- ㉚ **PLAYボタン**
フロントパネルのPLAYボタンと同じ動作です。

オーディオ信号の接続

入力

INPUT SELECTボタン（またはリモコンのINPUT SELボタン）

で選んだ入力端子のみが有効です。

次の5系統の入力端子の中から1つを選択して、接続を行います。

- ANALOG IN L／R (UNBALANCED) 端子
- ANALOG INPUT L／R (BALANCED) 端子
- DIGITAL IN (COAXIAL) 端子
- DIGITAL IN (OPTICAL) 端子
- DIGITAL INPUT (AES/EBU) 端子

現在選ばれている入力端子は、ディスプレーで確認できます。（→
28ページ「入力信号の選択」）

出力

次の5系統の出力端子全てから信号が出力されます。任意の端子を
選び、接続を行います。

- ANALOG OUT L／R (UNBALANCED) 端子
- ANALOG OUTPUT L／R (BALANCED) 端子
- DIGITAL OUT (COAXIAL) 端子
- DIGITAL OUT (OPTICAL) 端子
- DIGITAL OUTPUT (AES/EBU) 端子

第3章 メニューモードの操作

ここでは、CD-RW901MKIIの各種設定や編集を行うモード（メニューモード）の構成や基本操作について説明します。

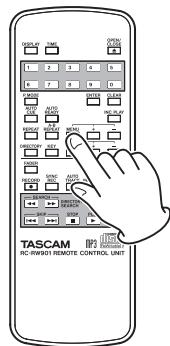
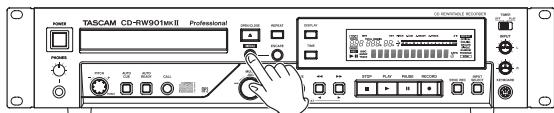
メニューの構成

メニューモードの構成は、次のようにになっています。各項目の詳細については、参照ページをご覧ください。

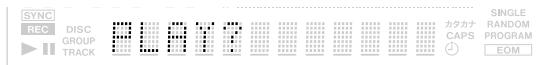
メニュー項目	サブメニュー項目	機能	参照ページ
PLAY	PLAY MODE	再生モードの設定	→ 19ページ
	PITCH STEP	ピンチコントロールの設定	→ 23ページ
	KEY	キーコントロール機能のオン／オフ設定	→ 23ページ
	KEY LEVEL	キーコントロールレベルの設定	→ 23ページ
	DIRECTORY	MP3ディスクのディレクトリ再生のオン／オフ設定	→ 25ページ
	MP3 ACTION	MP3ファイル再生時のエラー処理の設定	→ 25ページ
	READ SPEED	読み出し速度の設定	→ 16ページ
	INC PLAY	インクリメンタルプレー機能のオン／オフ設定	→ 26ページ
	EOM TRK	トラックでのEOM (End Of Message) 時間の設定	→ 27ページ
	EOM DISC	ディスクでのEOM時間の設定	→ 27ページ
	SKIP MODE	スキップ動作の設定	→ 18ページ
	EXT SYNC	外部同期再生のオン／オフ設定	→ 21ページ
	A_CUE LEVEL	オートキューレベルの設定	→ 25ページ
	VOLUME	デジタル信号の入力レベルの設定	→ 28ページ
REC	FADE IN	録音時のフェードイン動作時間の設定	→ 30ページ
	FADE OUT	録音時のフェードアウト動作時間の設定	→ 30ページ
	SRC	サンプリングレートコンバーターのオン／オフ設定	→ 28ページ
	SYNC LEVEL	シンク録音動作レベルの設定	→ 30ページ
	A_TRK	オートトラックモードの設定	→ 31ページ
	A_TRK LEVEL	オートトラック動作レベルの設定	→ 31ページ
	A_TRK TIME	オートトラック動作時間の設定	→ 31ページ
	SYNC TRIM	シンク録音動作開始ポイントの設定	→ 31ページ
	A_TRK TRIM	オートトラック動作開始ポイントの設定	→ 31ページ
	CONT REC	連続録音モードの設定	→ 33ページ
	COPY ID	録音トラックのコピー ID の設定	→ 33ページ
	INDEX INC	インデックスインクリメントのオン／オフ設定	→ 32ページ
TEXT	TEXT EDIT	CDのトラック名またはディスク名の設定	→ 36ページ
SYSTEM	KEYBOARD	キーボードタイプの設定	→ 37ページ
	PLAY TIME	本機で再生に使用した総時間を表示	→ 16ページ
	REC TIME	本機で録音に使用した総時間を表示	→ 29ページ
	F_PRESET	各設定を工場出荷状態に戻します	→ 15ページ
	BAUD RATE	通信速度の設定	→ 38ページ
	LENGTH	通信データ長の設定	→ 38ページ
	PARITY	通信パリティビットの設定	→ 38ページ
	STOP BIT	通信トップビットの設定	→ 38ページ

メニュー操作の基本

1. 本体または付属の専用リモコン (TASCAM RC-RW901) の MENUボタンを押します。



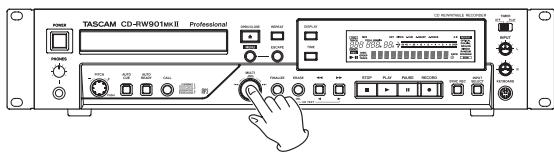
メニュー選択画面になります。



2. 希望のメニューを選択します。

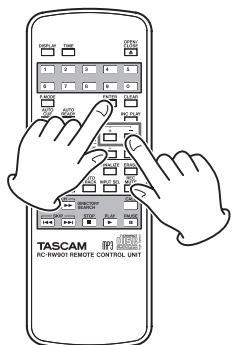
本体操作の場合 :

MULTI JOGダイヤルを回して希望のメニュー項目を表示し、MULTI JOGダイヤルを押します。



リモコン操作の場合 :

MENU (+/-) ボタンを使って希望のメニュー項目を表示し、ENTERボタンを押します。

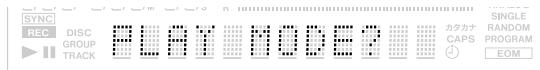


メニュー項目は、以下の順で表示されます。

→ PLAY? → REC? → TEXT? → SYSTEM? →

サブメニュー項目選択画面になります。

(例 : 再生モードの場合)



メモ

サブメニュー項目選択画面からメニュー選択画面に戻りたい場合は、本体のESCAPEボタン (リモコン操作の場合CLEARボタン) を押します。

3. 希望のサブメニューを選択します。

本体操作の場合 :

MULTI JOGダイヤルを回して希望のサブメニュー項目を表示し、MULTI JOGダイヤルを押します。

リモコン操作の場合 :

MENU (+/-) ボタンを使って希望のサブメニュー項目を表示し、ENTERボタンを押します。

(例 : 連続再生の場合)



設定画面になります。

メモ

サブメニュー項目選択画面に戻りたい場合は、本体のESCAPEボタン (リモコン操作の場合CLEARボタン) を押します。

4. 設定を行います。

本体操作の場合 :

MULTI JOGダイヤルを回して希望の設定値を表示し、MULTI JOGダイヤルを押します。

リモコン操作の場合 :

MENU (+/-) ボタンを使って希望の設定値を表示し、ENTERボタンを押します。

メモ

時間表示など、確認のみで設定のないメニュー項目もあります。

5. 設定後、メニュー mode を抜けます。

メモ

- 選択、設定途中でもMENUボタンを押すと、メニュー mode を抜けることができます。
- メニューの設定は、電源を切っても記憶されています (TEXTを除く)。
- 各設定を工場出荷状態に戻す場合は、SYSTEM メニューの F_PRESSET サブメニューを実行してください (No Disc状態以外では、実行できません)。

第4章 再生

ここでは、挿入されたCD/CD-R/CD-RWメディアを再生する方法や、CD-ROMなどのメディアにMP3フォーマットで記録されたオーディオファイルの再生方法について説明します。

再生可能なディスクについて

本機では、次のようなディスクの再生に対応しています。

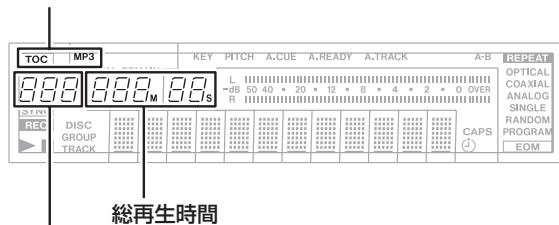
- CD-DA形式で記録されている市販のオーディオCD
- CD-DA形式で記録されているCD-R／CD-RW
- MP3形式のファイルが記録されているCD-ROM／CD-R／CD-RW

再生の基本操作

ここでは、再生／一時停止／停止などの基本操作を行う手順について説明します。

1. ヘッドホンでモニターする場合は、**PHONES**端子にヘッドホンを接続し、**PHONES**つまみを絞っておきます。
2. **POWER**スイッチを押して電源を入れます。
3. **OPEN/CLOSE**ボタンを押して、ディスクトレーを開き、ディスクを載せます。
4. **OPEN/CLOSE**ボタンを押して、ディスクトレーを閉じます。ディスプレーには **Close** と表示され、ディスクトレーが完全に閉じると、表示が **TOC Reading** に切り換わります。ディスクの読み込みが完了すると、ディスプレーに総トラック数と総再生時間が表示されます。

ディスクの種類



総再生時間

総トラック数

なお、挿入したディスクの種類は、次のように表示されます。

- TOC** ファイナライズ済みのメディアを示します。ファイナライズ処理していないCD-RまたはCD-RWメディアの場合、消灯となります。
- MP3** MP3ファイルが記録されたメディア
5. 再生を始めるには、**PLAY**ボタンを押します。接続されているモニターシステム、または**PHONES**つまみを操作して、適切なモニターレベルに設定してください。なお、一時停止や停止の操作は、次のように行います。

再生を一時停止するには

PAUSEボタンを押します。

もう一度**PLAY**ボタンを押すと、再び再生が始まります。

再生を止めるには

STOPボタンを押します。

メモ

- この取扱説明書では、特に断りがない限り、再生モード（→ 19ページ）が連続再生に設定されているものとして説明しています。
- SYSTEMメニューの **PLAY TIME** サブメニューを表示すると本機で再生した総時間を確認できます。
- PLAYメニューの **READ SPEED** サブメニューを **High** に変更すると、傷や汚れなどで読み取りづらいディスクの再生が可能になる場合があります。設定を **High** にして再生を行うと回転音などの動作音が大きくなります。

選曲

ここでは、複数のトラックを含むCDを再生するときに、選曲を行う方法を説明します。

選曲方法には、前後のトラック番号に移動する方法（スキップ）と、トラック番号を直接指定する方法があります。

スキップ

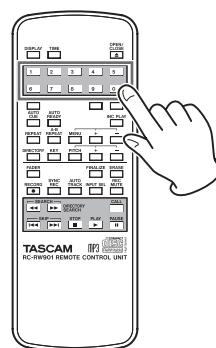
前後のトラック番号にスキップする方法を説明します。

1. フロントパネルの **MULTI JOG** ダイヤルを回して（またはリモコンの **SKIP** (**◀◀** / **▶▶**) ボタンを押して）トラックを選びます。
ダイヤルまたはボタンを使用したときの動作は、次の通りです。
 - **MULTI JOG** ダイヤル
右に回すと後ろのトラック番号、左に回すと手前のトラック番号に移動します。
 - **SKIP** (**◀◀** / **▶▶**) ボタン
▶▶ボタンを押すと後ろのトラック番号、**◀◀**ボタンを押すと手前のトラック番号に移動します。
2. フロントパネルの **PLAY** ボタン（またはリモコンの **PLAY** ボタン）を押します。
選択したトラックの再生が始まります。また、**PLAY** ボタンの代わりにフロントパネルの **PAUSE** ボタン（またはリモコンの **PAUSE** ボタン）を押した場合は、選択したトラックの先頭に移動した後、一時停止状態になります。

トラック番号の指定選曲

リモコンの数字ボタン（**1**～**9**ボタン、**0**ボタン）を使用して、再生するトラック番号を直接指定する方法を説明します。

1. リモコンの数字ボタン（**1**～**9**ボタン、**0**ボタン）を使って、トラック番号（最高3桁）を入力します。



トラック番号は、高い桁の数字から順に入力します。

- トラック1を指定する場合
1ボタンを1回押す。
 - トラック12を指定する場合
1ボタン→2ボタンの順に押す。
 - トラック103を指定する場合
1ボタン→0ボタン→3ボタンの順に押す。
2. リモコンのPLAYボタンを押します。
選択したトラックの再生が始まります。また、この手順でPLAYボタンの代わりにリモコンのPAUSEボタンを押した場合は、選択したトラックの先頭に移動した後で、一時停止状態になります。

メモ

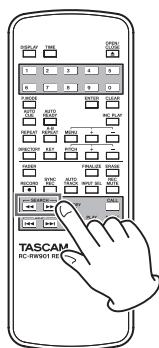
- PLAYボタンを押す代わりにMULTI JOGダイヤルを押して（またはリモコンのENTERボタンを押して）、トラック番号を確定することもできます。
- プログラム、ランダムモード時はリモコンの数字ボタン（1～9ボタン、0ボタン）によるトラック指定はできません。

トラックのサーチ

再生中（または一時停止中）に、トラックの聴きたい部分をサーチできます。サーチ方法には、音声を聴きながら早戻し／早送りサーチを行う通常のサーチと、任意のトラック／時間を直接指定して移動するサーチ（ダイレクトサーチ）があります。

通常のサーチ

フロントパネルの◀◀ [◀] / ▶▶ [▶] ボタン（またはリモコンのSEARCH（◀◀ / ▶▶）ボタン）を使って、音声を聴きながらトラックをサーチする方法を説明します。



1. 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
2. フロントパネルの◀◀ [◀] / ▶▶ [▶] ボタン（またはリモコンのSEARCH（◀◀ / ▶▶）ボタン）の一方を押し続けます。前方（▶▶）または後方（◀◀）へのサーチが始まります。
3. サーチを止めるには、フロントパネルの◀◀ [◀] / ▶▶ [▶] ボタン（またはリモコンのSEARCH（◀◀ / ▶▶）ボタン）を放します。
サーチを行う前の状態（再生または一時停止）に戻ります。

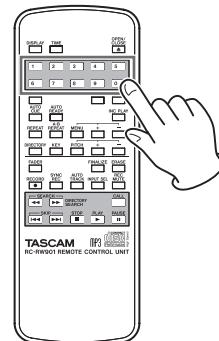
メモ

MP3ファイルは、通常のサーチは行えません。

ダイレクトサーチ

任意のトラック／時間を直接指定して移動するサーチ（ダイレクトサーチ）について説明します。

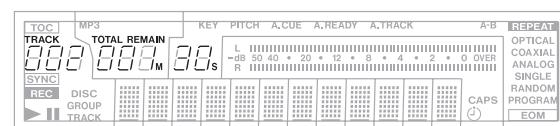
1. ダイレクトサーチを行うには、リモコンの数字ボタン（1～9ボタン、0ボタン）を使って、次の順に8桁の数字を入力します。



- トラック番号（3桁）
- トラックの先頭からの経過時間（分）（3桁）
- トラックの先頭からの経過時間（秒）（2桁）

たとえば、トラック2の1分30秒の位置を指定する場合は、次の順に数字ボタン（1～9ボタン、0ボタン）を押します。

0→0→2→0→0→1→3→0



8桁の入力が完了した時点で、即座に該当する位置に移動します。

メモ

- ダイレクトサーチは、トラックが停止、再生、一時停止のどの状態であっても利用できます。
- 停止状態または再生状態のときにダイレクトサーチを行うと、移動した位置から再生を始めます。また、一時停止中だった場合は、移動した位置でも一時停止になります。

注意

- MP3ディスクが挿入されているときは、トラック内の時間指定ができません。トラック番号（先頭から3桁）を入力した時点で、指定したトラックが再生されます。
- 現在挿入されているディスクに存在しないトラック番号や時間を指定すると、その時点で設定操作が解除されます。
- プログラム、ランダムモード時はダイレクトサーチはできません。
- 2. トラック番号のみ、またはトラック番号+分単位で位置を指定したいときは、必要な数値のみを入力したところで、リモコンのENTERボタン（またはPLAYボタン、PAUSEボタン）を押します。

第4章 再生

トラック番号のみを指定した場合

トラック番号（最大3桁）を指定してからリモコンのENTERボタン（またはPLAYボタン、PAUSEボタン）を押すと、ダイレクトサーチが実行されます。分と秒の桁は、全て0になります。

メモ

- この方法でトラックを指定するときは、先頭の0または00を省略できます。たとえば、トラック2を選ぶときは2、トラック12を選ぶときは1→2の順で押してからENTERボタン（またはPLAYボタン、PAUSEボタン）を押します。
- 停止状態または再生状態のときにENTERボタンを使ってダイレクトサーチを行うと、移動した位置から再生が始まります。また、一時停止中だった場合は、移動先でも一時停止します。
- PLAYボタンを押してダイレクトサーチを行った場合は、移動した位置から即座に再生が始まります。また、PAUSEボタンを押した場合は、移動した位置で一時停止状態になります。
- この動作は、16ページ「トラック番号の指定選曲」と同じです。

トラック番号と分単位の位置を指定した場合

トラック番号と分単位の開始位置（合計6桁）を指定してからリモコンのENTERボタン（またはPLAYボタン、PAUSEボタン）を押すと、ダイレクトサーチが実行されます。この場合、秒の桁は0になります。

各ボタンを押したときの動作は、トラック番号のみを指定した場合と同じです。

たとえば、トラック2の1分00秒の位置を指定する場合は、次順にボタンを押します。

0→0→2→0→0→1→リモコンのENTERボタン（またはPLAYボタン、PAUSEボタン）

メモ

この方法で指定するときは、分の先頭の0を省略できます。
上記の例では、0→0→2→1の順で押してからENTERボタン（またはPLAYボタン、PAUSEボタン）を押します。

インデックスのサーチ

再生中（または一時停止中）に、前後のインデックス番号に移動する方法を説明します。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 PLAY? → SKIP MODE 項目を選択します。
ディスプレーに Skip> XXXXX (Time / Index / OFFを選択可能) が表示されます。
- MULTI JOGダイヤル（またはリモコンのMENU (+/-) ボタンとENTERボタン）を使って、Index を選択します。
- 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
ディスプレーのキャラクター表示部に Index XX (XX はインデックス番号) が表示されます。
- フロントパネルの◀ [◀] / ▶ [▶] ボタン（またはリモコンのSEARCH (◀ / ▶) ボタン）の一方を押します。
後ろ (▶) または手前 (◀) のインデックス番号に移動し、移動した位置から再生が始まります。また、一時停止中だった場合は、移動先でも一時停止します。

ヒント

録音時、手動で任意の位置にインデックス番号を付けることができます。（→ 32ページ「インデックス番号を手動で更新する」）

メモ

MP3ファイルは、インデックスサーチは行えません。

タイムスキップ

(1.~2.までは、インデックスサーチと同様の方法で Time を選択してください。)

- 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
- フロントパネルの◀ [◀] / ▶ [▶] ボタン（またはリモコンのSEARCH (◀ / ▶) ボタン）の一方を押します。
現在の位置から、後ろ (▶) または手前 (◀) の1分の位置に移動し、移動した位置から再生が始まります。また、一時停止中だった場合は、移動先でも一時停止します。

注意

- トラックの先頭から1分未満の位置で (◀) が押された場合、現在のトラックの先頭に移動します。
- トラックの先頭から1秒未満の位置で (◀) が押された場合、前のトラックの終わりから1分前に移動します。ただし、ディスクまたはプログラムの先頭トラックの場合、現在のトラックの先頭で一時停止します（ランダム再生時、トラックの先頭から1秒未満の位置で (◀) が押されても、トラックの先頭への移動となります）。
- トラックの残り時間が1分未満の位置で (▶) が押された場合、次のトラックの先頭に移動します。ただし、ディスクまたはプログラムの最終トラックの場合、現在のトラックの最後で一時停止します。

メモ

MP3ファイルは、タイムスキップは行えません。

再生モード

本機では、4種類の再生方法（再生モード）の中から1つを選んで使用できます。選択できる再生方法は次の通りです。

連続再生モード（初期設定）

トラック番号の順番通りに再生します。

シングル再生モード

1トラックだけを再生し、再生後に停止します。

ランダム再生モード

ディスクの全てのトラックをトラック番号に関係なく、ランダムに再生します。

プログラム再生モード

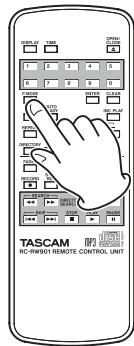
トラックを登録した順序で再生します。

再生モードを切り換えるには、リモコンのボタンを使用する方法と、メニューを使用する方法があります。

再生モードを選択する

リモコンのボタンを使用する場合

- 停止状態で、リモコンのP.MODEボタンを繰り返し押します。



ボタンを押すたびに、モードが切り換わります。

ディスプレーには、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

ディスプレー	表示再生モード
Continue	連続再生
Single	シングル再生
Program	プログラム再生
Random	ランダム再生

- P.MODEボタンの操作を終えてしばらくすると、元の表示に戻ります。

選択中の再生モードにより、画面右部に次のような表示が現れます。

再生モード	インジケーター表示
連続再生	表示なし
シングル再生	SINGLE が点灯
プログラム再生	PROGRAM が赤く点灯
ランダム再生	RANDOM が赤く点灯

メニューを使用する場合

- 停止状態で、15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 PLAY MODE? 項目を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。

- MULTI JOGダイヤルを回して、再生モードを選びます。変更した再生モードは即座に反映されます。ディスプレーには、現在選ばれているモードが次のように表示されます。

ディスプレー表示	再生モード
Mode>Cont	連続再生
Mode>Single	シングル再生
Mode>Program	プログラム再生
Mode>Random	ランダム再生

- メニューからノーマルモードに戻るには、MENUボタン、またはMULTI JOGダイヤルを押します。

メモ

選択した再生モードは、電源を切っても保持されます。

連続再生

トラック番号の順番通りに再生する標準的な再生モードです。

- 停止状態で、再生モードを Continue または Mode>Cont に設定します。設定方法は、→ 19ページ「再生モード」をご参照ください。
- フロントパネル（またはリモコン）のPLAYボタンを押します。トラック番号の順に再生が行われます。

シングル再生

1トラックだけを再生する再生モードです。

- 停止状態で、再生モードを Single に設定します。設定方法は、→ 19ページ「再生モード」をご参照ください。
- 必要ならば、リモコンのSKIP (◀◀ / ▶▶) ボタン、リモコンの数字ボタン（1~9ボタン、0ボタン）、フロントパネルのMULTI JOGダイヤルなどを使って、再生するトラックを選びます。（→ 17ページ「トラックのサーチ」）
- フロントパネル（またはリモコン）のPLAYボタンを押します。1トラックだけ再生を行い、再生後に停止します。

プログラム再生

あらかじめプログラムされた順序でトラックを再生する再生モードです。プログラムできるトラック数は、最大99トラックです。

- 停止状態で、再生モードを Program に設定します。設定方法は、→ 19ページ「再生モード」をご参照ください。
- リモコンの数字ボタン（1~9ボタン、0ボタン）を使ってプログラムするトラック番号を入力し、ENTERボタンを押して確定します。トラック番号がプログラムされます。

メモ

MULTI JOGダイヤルを回してトラックを選び、MULTI JOGダイヤルを押すことでも、プログラムが行えます。

第4章 再生

3. 手順2.を繰り返して、1曲目から最後までプログラムを行います。

メモ

- 同じトラックを繰り返しプログラムすることも可能です。
- リモコンのCLEARボタンを押すと、最後にプログラムしたトラックがプログラムデータから消去されます。
- 100曲以上をプログラムしようとすると、エラーメッセージ PGM Full! が表示されます。プログラムできるのは、99曲までです。
- プログラムしたトラックの総再生時間が999分59秒を越えると、----:-- と表示されます。

4. PLAYボタンを押して、プログラム再生を始めます。

注意

- この再生モードでは、トラックが1つもプログラムされていないときは再生が行われません。
- 停止中にSTOPボタンを押すと、プログラムデータが全て消去されます。
- 停止中に再生モードを切り換えると、プログラムデータが全て消去されます。
- 本体の電源を切ると、プログラムデータが全て消去されます。

ランダム再生

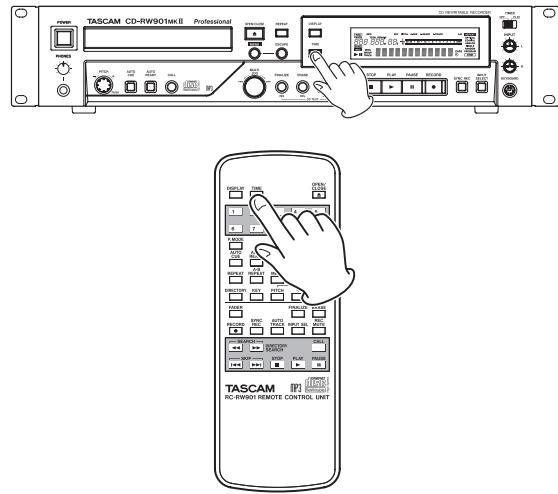
全てのトラックをランダムに再生します。

- 停止状態で、再生モードを Random に設定します。
設定方法は、→ 19ページ「再生モード」をご参照ください。
- フロントパネル（またはリモコン）のPLAYボタンを押します。
トラック番号に関係なく、全てのトラックをランダムに再生します。

時間表示の切り換え

ここでは、時間表示を切り換える方法を説明します。

フロントパネル（またはリモコン）のTIMEボタンを押します。



TIMEボタンを押すたびに、4種類の時間表示が切り換わります。
現在選ばれている表示方法は、以下のインジケーターの状態で確認できます。

表示なし

現在のトラックの経過時間を表示します。

REMAIN が点灯

現在のトラックの残り時間を表示します。

TOTAL が点灯

ディスクの経過時間を表示します。

TOTAL と REMAIN が点灯

ディスクの残り時間を表示します。

メモ

- 停止中は、TOTAL、REMAIN の点灯状態にかかわらず、常にディスク全体の録音時間を表示します。
- プログラムモードでは、ディスク全体ではなくプログラム全体の経過時間と残り時間を表示します。
- MP3ファイルを再生する場合、常にトラック経過時間が表示されます。TIMEボタンの操作は無効です。
- 録音中／録音待機中の時間表示については、→ 30ページ「第5章 録音」の「時間表示の切り換え」をご参照ください。

外部同期再生

選択されたデジタル入力（OPTICAL、COAXIAL、AES/EBU）のクロックに同期して、再生する方法を説明します。

1. フロントパネル（またはリモコン）のSTOPボタンを押して、停止状態にします。
2. 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 PLAY? → EXT SYNC? 項目を選択します。
ディスプレーに EXT Sync? XXX (ON/OFFを選択可能) が表示されます。
3. MULTI JOGダイヤル（またはリモコンのMENU (+/-) ボタンとENTERボタン）を使って、外部同期再生のオン／オフを切り替えます。
オンにすると、INPUT SELECTで選択されている録音ソースからの入力クロックに同期して、再生を行います。

メモ

選択されたデジタル入力クロックに同期できなかった場合、ディスプレーに EXT CLK Err! と表示され、内部クロックで動作します。アナログ入力が選択されている場合も同様です。

注意

44.1kHz以外の信号で同期させた場合、再生音が変わった、または同期できないことがあります。

ヒント

- 48kHzの信号で同期させた場合、48kFsアジャスト機能を使うと、再生音を通常再生のようにすることができます。
- 外部同期再生がオンのとき、停止、再生、一時停止中にフロントパネル（またはリモコン）のSYNC RECボタンを押すと、48kFsアジャスト機能のオン／オフが切り換わります。
- 48kFsアジャスト機能がオンのとき、再生中（または一時停止中）にディスプレーに 48k Fs Adj が表示されます（本機能はバックアップされます。ただし、外部同期再生のオン／オフが切り換えると、本機能は自動的にオフになります）。

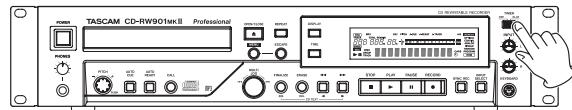
注意

- 48kHz以外の信号で同期させた場合、48kFsアジャスト機能をオンにすると再生音が変わります。
- 48kFsアジャスト機能がオンのときの再生音は、原音と異なる場合があります。
- 48kFsアジャスト機能がオンのとき、ピッチコントロール再生、キーコントロール再生の機能は無効になります。
- MP3ファイルでは外部同期再生時のアジャストはできません。

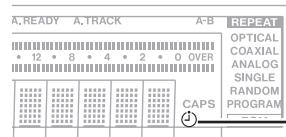
タイマープレー

タイマープレーは、電源を入れると自動的に再生を始める機能です。この機能をオンに設定しておき、市販のタイマーなどを使って外部から本機の電源を入れれば、お好きな時間に再生を開始できます。

1. 本機の電源がタイマーの電源出力から供給されるように、本機をタイマーに接続します。
2. 再生するディスクを挿入します。
3. 本体のTIMERスイッチを「PLAY」側に切り換えて、タイマープレー機能をオンにします。



タイマープレー機能がオンのとき、ディスプレーにタイマーインジケーターが点灯します。



タイマーインジケーター

メモ

ディスクが挿入されていないときは、タイマーインジケーターが点滅します。

4. タイマーを希望の時刻に設定します。
タイマーを設定した時刻になると本機の電源がオンになり、自動的に再生を始めます。

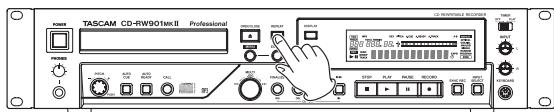
リピート再生

ここでは、現在セットされているディスクの全トラックを繰り返し再生したり、トラック内の特定区間を繰り返し再生（A-Bリピート再生）したりする方法について説明します。

通常のリピート再生

ディスクの全てのトラックを繰り返し再生します。

1. フロントパネル（またはリモコン）のREPEATボタンを押して、リピート再生機能をオンにします。



ディスプレーに Repeat ON と表示され、[REPEAT] インジケーターが点灯します。

この状態で、ディスクの全てのトラックを繰り返し再生できます。再生中にリピート再生機能をオンにした場合は、そのまま再生を続け、ディスクの最後まで再生すると先頭に戻って再生を続けます。

停止中にオンにした場合は、PLAYボタンを押すとリピート再生が始まります。

2. リピート再生機能をオフにするには、フロントパネル（またはリモコン）のREPEATボタンをもう一度押します。
ディスプレーに Repeat OFF と表示され、[REPEAT] インジケーターが消灯します。

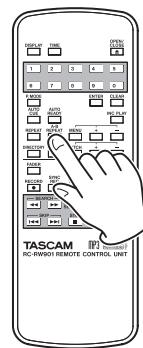
メモ

- リピート再生をシングル再生、プログラム再生、ランダム再生と組み合わせると、1曲リピート、プログラムリピート、ランダムリピートが行えます。
- リピート再生機能の設定は、電源を切っても記憶されています（A-B点は記憶されません）。

A-Bリピート再生

トラック内の区間（A-B）を指定して、繰り返し再生します。

1. 再生中にA-Bリピート再生の始点（A）にしたい位置で、リモコンのA-B REPEATボタンを押します。



ディスプレーの [REPEAT] インジケーターが点灯し、A- インジケーターが点滅します。

メモ

REPEATボタンを押すと、A-Bリピート再生の始点（A）が解除され、[REPEAT] インジケーターと、A- インジケーターが消灯します。

2. 繰り返したい区間の終点（B）で、もう一度リモコンのA-B REPEATボタンを押します。

ディスプレーの [REPEAT] インジケーターに加えて、A-B インジケーターが点灯します。

これで区間（A-B）が確定し、A-Bリピート再生が始まります。

メモ

一時停止してから始点（A）と終点（B）を設定することも可能です。

3. A-Bリピート再生機能をオフにするには、リモコンのA-B REPEATボタン、またはREPEATボタンを押します。

ディスプレーの [REPEAT] インジケーターと、A-B インジケーターが消灯し、A-Bリピート再生機能が解除されます。再生中に解除した場合は、A-Bリピート再生の終点に指定した位置を越えても再生が続きます。

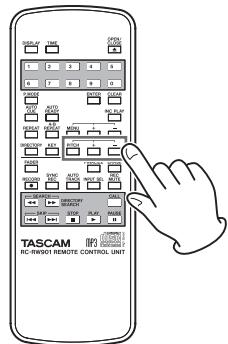
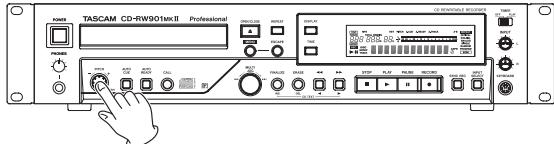
注意

- STOPボタンを押すと、指定した区間（A-B）は消去されます。
- MP3ファイルでは、A-Bリピート再生は行えません。
- トラックをまたいでの、A-Bリピート再生は行えません。

ピッチコントロール再生

本機では、ピッチ（音の高さと再生の速さ）を変化させて再生できます（ピッチコントロール再生）。

- PITCHつまみ（またはリモコンのPITCHボタン）を押して、ピッチコントロール再生機能のオン／オフを切り替えます。



ピッチコントロール再生機能をオンにすると、ディスプレーで PITCH インジケーターが点灯します。

- PITCHつまみを回して（またはリモコンのPITCH (+/-) ボタンを押して）、ピッチコントロール値を設定します。

ディスプレーに Pitch > XXXX (-16.0~0.0~+16.0を選択可能) と表示されます。

メモ

調節する値の細かさは、メニュー項目 PITCH STEP? を使って、0.1%~1.0%の範囲で設定できます。

- ピッチコントロール再生を一時的にオフにするには、PITCH つまみ（またはリモコンのPITCHボタン）を押します。ディスプレーに Pitch OFF が表示され、ピッチコントロール再生がオフになります。元に戻すには、もう一度同じボタンを押します。

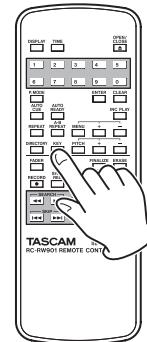
注意

- 再生中にピッチコントロール再生のオン／オフを切り換えると、再生音が瞬間に途切れることができますのでご注意ください。
- MP3ファイルに対してはピッチコントロールが働きません。

キーコントロール再生

オーディオCD再生時に、キーを変えることができます。MP3ディスクに対しては、本機能は働きません。

- リモコンのKEYボタンを押して、キーコントロール機能のオン／オフを切り替えます。



キーコントロール機能をオンにすると、ディスプレーに KeyXXX が表示され、KEY インジケーターが点灯します。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 PLAY? → KEY LEVEL? 項目を選択します。ディスプレーに Key Level > XXX (選択値: 0 (音程の変化なし)、b1~b6, #1~#6から選択可能) が表示されます。
- MULTI JOGダイヤルを回して（またはリモコンのMENU (+/-) ボタンを押して）、キーコントロールレベルの値を設定します。この状態でCDを再生すると、スピードは変わらずキーだけが変化して再生されます。

ヒント

キーコントロール機能がオンのときにピッチコントロール機能を使うと、再生スピードが変わるだけで音程は変わりません（再生される音程は KEY LEVEL? 項目で設定された音程に固定されます）。したがって KEY LEVEL? 項目を 0 に設定してキーコントロール機能をオンにしておくと、ピッチコントロールを使って音程を変えずに再生スピードだけを変えることができます。

メモ

リモコンのKEYボタンを押す代わりにメニュー項目 PLAY? → KEY? 項目を選択して、オン／オフを切り換えることもできます。

注意

キーコントロール機能を使用しているときに再生音が震えているように聴こえることがあります、これはCDの再生音を特殊処理しているために発生するもので、故障ではありません。

MP3ファイルの再生

ここでは、MP3ファイルが収録されたディスク（MP3ディスク）を再生する方法を説明します。

MP3ディスクを再生するには、ディスク内の全てのMP3ファイルを再生対象にする方法と、特定のディレクトリ（フォルダー）に含まれるMP3ファイルのみを再生対象にする方法（ディレクトリモード）があります。

メモ

- 本機ではISO9660 レベル1、レベル2、またはJolietに準拠したフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。また、マルチセッションで記録されたディスクも再生することが可能です。
- MP3ファイルとディレクトリ数に以下のような制限を設けておきます。

最大ディレクトリ数：255

最大階層数：8

最大MP3ファイル数：999

最大MP3ディレクトリ名、ファイル名、ID3Tag 名
：255 文字

- MP3のトラック情報について

再生中にディスプレーに表示される優先順位は、ID3v2> ID3v1>ファイル名となっています。また、停止中はファイル名を表示します。

注意

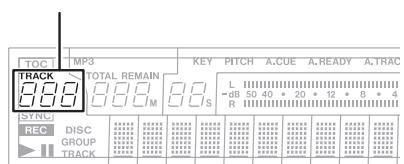
44.1kHz以外のサンプリングレートで変換されたMP3ファイルは、正常に再生できません。推奨フォーマットはサンプリングレート44.1kHz、ビットレート128kbps以上です。

全てのMP3ファイルを再生する

本機では、MP3ディスクを通常のディスクと同じように再生できます。

- OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレーを開き、MP3ファイルの収録されたディスクを載せます。
- OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレーを閉じます。ディスプレーには Close と表示され、ディスクトレーが完全に閉じると、表示が TOC Reading. に切り換わります。ディスクの読み込みが完了すると、ディスプレーの MP3 インジケーターが点灯し、MP3ディスクの総トラック数が表示されます。総再生時間は表示されません。

総トラック数



メモ

- MP3ファイルが保存されたディスクでは、それぞれのMP3ファイルが「トラック」として扱われます。
- MP3ディスク内部が複数のディレクトリ（階層構造）に分かれている場合でも、子ディレクトリや孫ディレクトリにある全てのMP3ファイルが読み出されます。
- トラック番号は、ルートディレクトリ（ディスクの最上段の階層）にあるMP3を先頭に自動的に付けられます。

- 再生を始めるには、PLAYボタンを押します。
MP3が再生されます。

メモ

- 選曲は通常のディスクを操作するときと同じように行えます。
- プログラム再生、リピート再生（A-B リピート再生を除く）などは、通常のディスクと同じように行えます。
- 再生、または一時停止中にDISPLAYボタンを押すと、現在再生されているMP3ファイルのID3Tag、ID3Tagが存在しない場合は、ファイル名が確認できます。

注意

MP3ディスクでは、トラックのサーチが行えません。

ディレクトリを指定して再生する

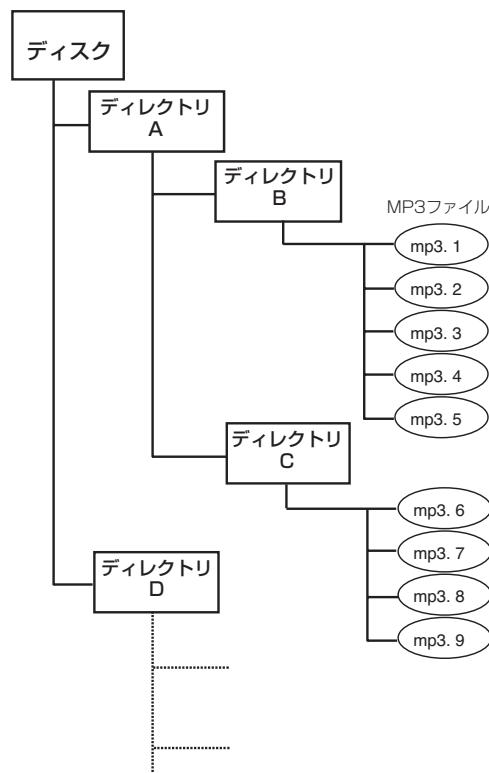
MP3ディスク内部のディレクトリ単位でMP3ファイルの再生を行うディレクトリモードについて説明します。

ディレクトリ再生について

ディレクトリとは、CDメディアやハードディスク上の階層のこと、フォルダーと呼ばれることもあります。

ディレクトリモードをオンにすると、選択されたディレクトリ内のファイルのみが操作対象になり、プログラム再生、リピート再生なども全て同じディレクトリ内で行われます。

ディレクトリモードがオフのときは、ディレクトリ構造が無視され、ディスクに収録されている全てのMP3ファイルが再生対象になります。



メモ

MP3ファイルが収納されていないディレクトリは、操作対象として選択できません。たとえば、次ページの階層図の場合、MP3ファイルが収納されているディレクトリB、Cは、操作対象ディレクトリとして選択できますが、ディレクトリAは操作対象から外されます。

注意

ディレクトリモードをオンにすると、ルートディレクトリ（下図のディレクトリAやディレクトリDがある、最上段の階層）にあるMP3ファイルは再生の対象外となります。

ディレクトリ再生の設定

ディレクトリモードのオン／オフを切り換える方法と、ディレクトリモードの操作について説明します。

メモ

以下の説明では、ディレクトリモードのオン／オフの切り換え操作をメニューで行いますが、リモコンの**DIRECTORY**ボタンを使用することもできます。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー項目**DIRECTORY?**を表示させ、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
ディスプレーに DIR> XXX (ON / OFFを選択可能) が表示されます。
- MULTI JOG**ダイヤルを回して、ディレクトリモードのオン／オフを切り替えます。
オンになるとディスプレーで GROUP インジケーターが点灯します。
- メニューからノーマルモードに戻るには、**MENU**ボタンを押します。
- 操作対象となるディレクトリを選ぶには、停止中のときに◀◀ [◀] / ▶▶ [▶] ボタン（またはリモコンの**SEARCH** (◀◀ / ▶▶) ボタン）を操作します。
ディスプレーに DIR XXX (ディレクトリの番号を選択可能) が表示されます。
操作を止めてしばらくすると、元の表示に戻ります。このとき最後に表示されていたディレクトリが、操作対象になります。

メモ

MP3ファイルが存在しないディレクトリは、操作対象として表示されません。このため、選択するディレクトリの番号が連続していない場合もあります。

- フロントパネル（またはリモコン）の**PLAY**ボタンを押します。
選択したディレクトリ内で再生が始まります。プログラム再生、リピート再生なども全て同一ディレクトリ内で行われます。

メモ

再生中は**MULTI JOG**ダイヤル（またはリモコンの**SKIP** (◀◀ / ▶▶) ボタン）を使って、トラック（MP3ファイル）の選択が行えます。

MP3 ACTIONの設定

MP3 ACTIONの設定と、MP3ファイル再生時、MP3ファイルの再生に失敗したとき（Decode Err!）、再生を継続するか停止するかの方法について説明します。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー項目**MP3 ACTION?**を表示させ、**MULTI JOG**ダイヤルを押します。
ディスプレーに Error> XXXX 項目が表示されます。
- MULTI JOG**ダイヤルを回して、MP3 ACTIONのSkip / Stopを切り替えます。
- メニューからノーマルモードに戻るには、**MENU**ボタンを押します。

・Stop

MP3ファイルの再生に失敗（Decode Errが発生）した場合、停止状態となります（ディスプレーに Decode Err! を表示します）。

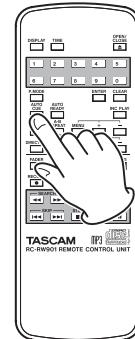
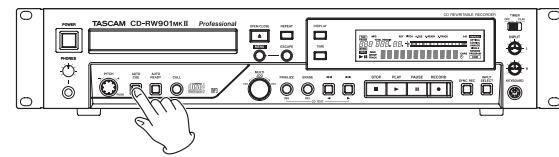
・Skip

MP3ファイルの再生に失敗（Decode Errが発生）した場合、次のトラックの再生を行います。ただし、次のトラックがない（リピートがオフでディスクの最終トラック、またはプログラムの最後）場合、停止状態となります（ディスプレーに Decode Err! を表示します）。

オートキューアクション

指定したレベル以上の音量を検知して、一時停止状態にさせる方法（オートキューアクション）について説明します。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目**PLAY? → A_CUE LEVEL?**項目を選択します。
ディスプレーに A_Cue> XXX (-24dB~-72dB / 6dBステップを選択可能) が表示されます。
- MULTI JOG**ダイヤル（またはリモコンの**MENU** (+/-) ボタンと**ENTER**ボタン）を使って、オートキューアクションが働く音量のしきい値を設定します。
- フロントパネル（またはリモコン）の**AUTO CUE**ボタンを押します。



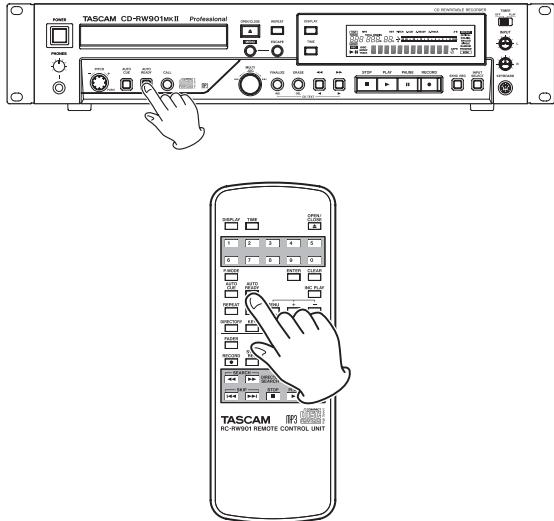
オートキューアクションがオンになると、ディスプレーに A_CUE XXX (XXX はしきい値) が表示され、A_CUE インジケーターが点灯します。

- フロントパネル（またはリモコン）の**PLAY**ボタンを押して、任意のトラックを再生します。
この状態で指定したレベル以上の音量を検知すると、自動的に一時停止状態になります。
- オフにするには、もう一度**AUTO CUE**ボタンを押します。
ディスプレーに A_CUE OFF と表示され、オートキューアクションがオフになります。

オートレディ機能

再生中のトラックが終了した後、次のトラックの先頭で一時停止状態にする方法（オートレディ機能）について説明します。

1. フロントパネル（またはリモコン）のAUTO READYボタンを押します。



オートレディ機能がオンになると、ディスプレーに **A_READY ON** と表示され、**A.READY** インジケーターが点灯します。

この状態で再生中のトラックが終了すると、次のトラックの先頭で自動的に一時停止状態になります。

2. オフにするには、もう一度AUTO READYボタンを押します。ディスプレーに **A_READY OFF** と表示され、オートレディ機能がオフになります。

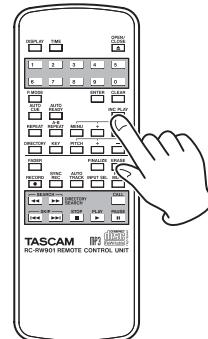
ヒント

オートキュー機能と組み合わせると、次のトラックの音の立ち上がりで一時停止状態にできます。

インクリメンタルプレー機能

PLAYボタンまたはSTOPボタンを押したとき、次のトラックの先頭から再生、または次のトラックの先頭で一時停止状態にする方法（インクリメンタルプレー）について説明します。

1. リモコンのINC PLAYボタンを押します。



インクリメンタルプレー機能がオンになると、再生中または一時停止中に TRACK が点滅します。

2. PLAYボタンまたはSTOPボタンを押します。
PLAYボタンを押した場合は、次のトラックを先頭から再生します。
STOPボタンを押した場合は、次のトラックを先頭に移動した後、一時停止状態になります。
3. オフにするには、もう一度INC PLAYボタンを押します。
TRACK が点灯に変わります。

メモ

- リモコンのINC PLAYボタンを押す代わりにメニュー項目 **PLAY? → INC PLAY?** 項目を選択して、オン／オフを切り換えることもできます。
- 最終トラックでPLAYボタンまたはSTOPボタンを押すと、先頭トラックに移動して、再生または一時停止します。

コール機能

最後に一時停止状態から再生を開始したポイント（コールポイント）に移動して、一時停止状態にする方法（コール機能）について説明します。

メモ

コールポイントが設定されていないときにCALLボタンを押すと、エラーメッセージ **No Call PT!!** が表示されます。

注意

- プログラム、ランダムモード時はコール機能を使用できません。
- MP3ファイルには、コール機能を使用できません。
- 以下の操作を行うと、コールポイントが消去されます。

本体の電源を切る
ディスクを排出する
再生モードを切り換える
ディスクの内容を変更する（録音、消去など）

EOM機能

トラック、またはディスクの残り時間が設定した時間以下になると、**CONTROL I/O PARALLEL**端子からEOMタリー信号を出力する方法（EOM機能）について説明します。

1. EOMタリー信号を受信する機器を**CONTROL I/O PARALLEL**端子に接続します。
2. 本体の**POWER**スイッチを押して、電源を入れます。
3. EOMタリー信号を出力するトリガー（トラックまたはディスクの残り時間）を設定します。

トラックの残り時間をトリガーにする場合：

停止状態で、メニュー項目 **PLAY?** → **EOM TRK?** 項目を選択します。

ディスプレーに **EOM TRK> XXX** (OFF、1~99sを選択可能) が表示されます。

ディスクの残り時間をトリガーにする場合：

停止状態で、メニュー項目 **PLAY?** → **EOM DISC?** 項目を選択します。

ディスプレーに **EOM DISC>XXX** (OFF、1~99sを選択可能) が表示されます。

4. **MULTI JOG**ダイヤル（またはリモコンの**MENU (+/-)**ボタンと**ENTER**ボタン）を使って、トリガーとなる残り時間を設定します。
5. フロントパネル（またはリモコン）の**PLAY**ボタンを押します。再生中のトラックまたはディスクが設定された時間以下になると、**[EOM]** インジケーターが点滅して、**CONTROL I/O PARALLEL**端子からEOMタリー信号が出力されます。

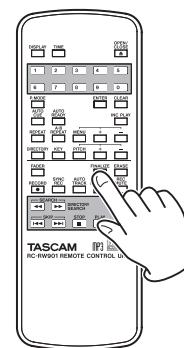
メモ

- トラックおよびディスクの残り時間が両方ともトリガーとして設定されている場合、どちらかの条件を満たした時点でEOMタリー信号が出力されます。
- MP3ファイル再生時には、EOMタリー信号は出力されません。

ISRC (International Standard Recording Code) 表示

ISRCコードを表示する方法について説明します。

1. 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
2. フロントパネルの**FINALIZE [INS]** ボタン（またはリモコンの**FINALIZE**ボタン）を押します。



ディスプレーにISRCコードが表示されます。

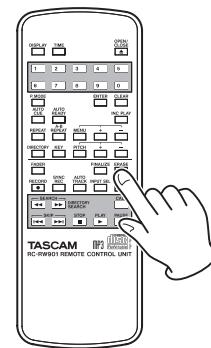
メモ

読み込みが完了していないディスク、またはISRCコードが存在しないディスクに対してこの操作をすると、エラーメッセージ **Incomplete!** が表示されます。

RID (Recorder Identification Data) 表示

RIDコードを表示する方法について説明します。

1. 任意のトラックを再生状態、または一時停止状態にします。
2. フロントパネルの**ERASE [DEL]** ボタン（またはリモコンの**ERASE**ボタン）を押します。



ディスプレーにRIDコードが表示されます。

メモ

- 読み込みが完了していないディスク、またはRIDコードが存在しないディスクに対してこの操作をすると、エラーメッセージ **Incomplete!** が表示されます。
- RIDコードの最初の3桁はメーカーコード、次の4桁はタイプコード、最後の5桁はレコーダーごとに割り当てられるコードです。

第5章 録音

ここでは、挿入したCD-R/CD-RWメディアに録音を行う方法や、録音時の各種機能について説明します。

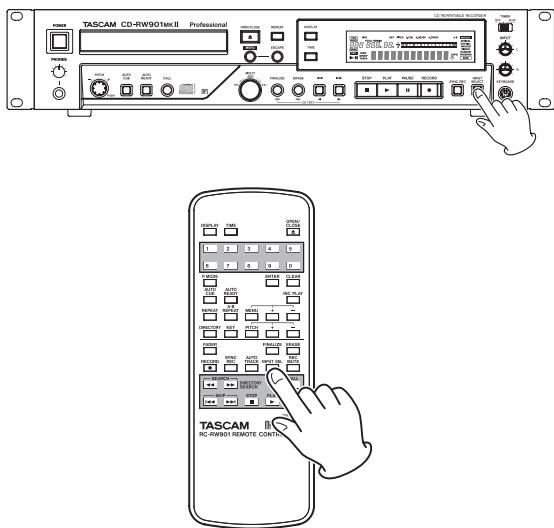
録音する前に

以下の項目は、録音を行うときに知っておくと、不要なトラブルが避けられます。一通りお読みになってから、録音の準備を行ってください。

- CDの規格により1枚のディスクには99トラック（曲）までしか録音できません。また、4秒以下の曲は録音できません。
- 録音を始めてから4秒以内にSTOPボタンまたはPAUSEボタンを押した場合は、4秒経ってから停止、または録音待機状態となります。その間は無音録音状態になります。
- 録音の途中で99曲まで達した場合は、Disc Full! と PMA Writing を表示した後、停止します。
- 録音の途中でディスクの録音可能時間を使いきった場合は、フェードアウトした後、Disc Full! と PMA Writing を表示して停止します。
- 途中まで録音してあるディスク（ファイナライズ処理されていないもの）を入れた場合は、追記録音することができます。
- ファイナライズ済みのCD-RWにさらに録音したいときは、一度アンファイナライズします。（→ 34ページ「アンファイナライズ」）

入力信号の選択

入力信号（録音ソース）は、5系統の中から1系統を選択します。録音ソースを選択するには、フロントパネルのINPUT SELECTボタン（またはリモコンのINPUT SELボタン）を押します。



ボタンを押すたびに、5種類の録音ソースが切り換わります。現在選ばれている録音ソースは、以下のインジケーターの状態で確認できます。

ANALOG が点灯

録音ソースとして、ANALOG IN L / R (UNBALANCED) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレーには、しばらくの間 Unbalance が表示されます。

ANALOG が点滅

録音ソースとして、ANALOG INPUT L / R (BALANCED) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレーには、しばらくの間 Balance が表示されます。

OPTICAL が点灯

録音ソースとして、DIGITAL IN (OPTICAL) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレーには、しばらくの間 Optical が表示されます。

COAXIAL が点灯

録音ソースとして、DIGITAL IN (COAXIAL) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレーには、しばらくの間 Coaxial が表示されます。

ANALOG、OPTICAL、COAXIAL の全てが消灯

録音ソースとして、DIGITAL INPUT (AES/EBU) 端子の入力信号を選択します。

ディスプレーには、しばらくの間 AES/EBU が表示されます。

サンプリングレートコンバーターを使用する

本機は常に44.1kHz（CDのサンプリングレート）で録音します。ただし、DIGITAL IN端子（OPTICAL、COAXIAL、AES/EBU）から異なるサンプリングレートの信号をデジタル録音する場合は、以下の方法でサンプリングレートコンバーター（SRC）をオンにする必要があります。

1. 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー項目 SRC? を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。ディスプレーに SRC>XXX (ON / OFFを選択可能) が表示されます。
2. MULTI JOGダイヤルを回して、SRCのオン／オフを切り替えます。
3. メニュー mode からノーマルモードに戻るには、MENUボタン、またはMULTI JOGダイヤルを押します。

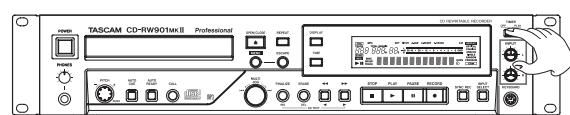
メモ

- SRCがオフの状態で信号をDIGITAL IN端子（OPTICAL、COAXIAL、AES/EBU）から受信しているとき、記録中、記録待機中にディスプレーの【REC】インジケーターが点滅します。
- SRCがオフのとき、44.1kHz以外のデジタル信号は録音できません。録音しようとすると、エラーメッセージ NotFs44.1K! が表示されます。

入力信号の調節

ここでは、入力信号のレベルを調節する方法について説明します。

1. 録音ソースとして設定した端子に、録音元の再生装置などが接続されていることを確認してください。
2. 録音ソースがアナログの場合（ANALOG が点灯、または点滅している場合）は、INPUT L / Rつまみを使って、接続した再生装置からの信号レベルを調節します。



ディスプレーに表示されるレベルメーターがクリップしない範囲で、レベルをできるだけ高めに設定してください。

INPUT L / Rつまみは、左右のレベルを個別に調整できます。

注意

録音ソースがデジタル信号の場合、INPUT L / Rつまみの設定は無効です。

メモ

INPUT L／Rつまみは、ANALOG IN L／R (UNBALANCED/BALANCED) 端子の入力信号が、デジタル信号に変換される前のレベルを調節しています。

3. ディスクに録音されるレベル（デジタルボリューム）を、次の手順にしたがって設定します。
 - ① 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー項目 VOLUME? を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。
ディスプレーに Vol>XXXXdB (-∞, -54.0～+18.0を選択可能) と表示されます。
 - ② MULTI JOGダイヤルを回して、録音レベルを設定します。アナログ信号を入力している場合、レベルは手順2.の INPUT L／Rつまみで調節しておき、デジタルボリュームは0dBにするのが理想的です。
デジタル信号を入力している場合は、レベルの低すぎる信号や高すぎる信号を補正するのに利用します。
 - ③ メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUボタン、またはMULTI JOGダイヤルを押します。

注意

デジタルボリュームを不用意に上げると、信号がクリップしますのでご注意ください。

入力信号のモニター

入力信号をモニターする方法を説明します。

1. ディスクが挿入されていないときに、フロントパネル（またはリモコン）のRECORDボタンを押します。
ディスプレーに Monitor と表示され、入力信号のモニターが有効になります。
2. 入力信号のモニターを解除するには、フロントパネル（またはリモコン）のSTOPボタンを押します。

録音の基本操作

ここでは、ディスクを挿入し、録音を行う手順について説明します。

1. POWERスイッチを押して、電源を入れます。
2. OPEN/CLOSEボタンを押してディスクトレーを開き、記録可能なディスクを載せます。
3. OPEN/CLOSEボタンを押して、ディスクトレーを閉じます。
ディスプレーに Close と表示され、ディスクトレーが完全に閉じると、表示が TOC Reading. に切り替わります。なお、空のディスクを挿入した場合、ディスプレーに Blank Disc と表示されます。
4. INPUT SELECTボタン（またはリモコンのINPUT SELボタン）を押して録音ソースを選びます。
録音ソースについて詳しくは、28ページ「入力信号の選択」をご参照ください。

5. RECORDボタンを押して、録音待機状態にします。

【REC】と II が点灯し、ディスプレーに Now OPC と表示されます。

メモ

- OPCは、Optimum Power Controlの略です。これは、ディスクに記録するレーザーパワーを最適な状態にする動作です。
- 録音ソースにデジタル信号を選んだ場合、信号が入力されていないときや不適切な信号を受信したときは、エラーメッセージ D-IN UNLOCK! と表示されます。

6. 入力レベルを調節します。

入力レベルについては、28ページ「入力信号の調節」をご参照ください。

ディスプレーのレベルメーター右端の OVER が点灯しない範囲で、なるべくレベルを高く調節してください。

OVER が点灯するとクリップによるデジタルノイズが発生します。アナログ録音と異なり、レベルメーターの 0 以降にヘッドroomはないので、ご注意ください。

メモ

CDなどを録音する場合は、原則として、メニュー項目の VOLUME? を 0.0dB にすることをお勧めします。録音ソースとなるCDをクリップせずに録音できます。

7. 録音を始めるには、PLAYボタンを押します。

録音ソースとして接続した再生装置などから、信号を入力してください。

なお、録音を停止したり、一時停止したりするには、次のように操作します。

録音を一時停止するには

PAUSEボタンを押します。もう一度PLAYボタンを押すと、再び録音が始まります。

録音を止めるには

STOPボタンを押します。

ディスプレーに PMA Writing を表示してディスクに録音内容を記録します。

注意

PMA Writing と表示されている間は、ディスクに録音内容を記録しています。このため、ボタン操作は受け付けません。

PMA Writing と表示されているときに本機を揺らしたり、電源を切ったりすることは、絶対におやめください。録音内容を正しく記録できなくなります。

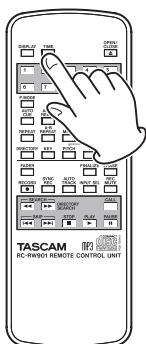
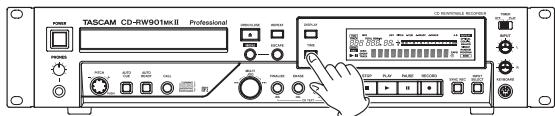
メモ

SYSTEMメニューの REC TIME サブメニューを表示すると本機で録音した総時間が確認できます。

時間表示の切り換え

ここでは、録音中（または録音待機中）に時間表示を切り換える方法を説明します。

録音中（または録音待機中）に、フロントパネル（またはリモコン）のTIMEボタンを押します。



ボタンを押すたびに、4種類の時間表示が切り換わります。現在選んでいる表示方法は、以下のインジケーターの状態で確認できます。

表示なし

現在のトラックの録音済み時間を表示します。

REMAIN が点灯

ディスクに録音可能な残り時間を表示します。

TOTAL が点灯

ディスク全体の録音経過時間を表示します。

TOTAL と REMAIN が点灯

ディスクに録音可能な残り時間を表示します。

メモ

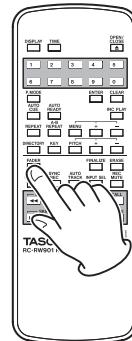
再生中／一時停止中の時間表示については、→ 20ページ「第4章 再生」の「時間表示の切り換え」をご参照ください。

フェードイン／アウト

録音中に、入力信号を無音状態から設定したレベルまでフェードインさせる、または現在のレベルから無音状態までフェードアウトすることができます。フェードイン／アウトの時間は、個別に設定できます。

1. 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー項目 FADE IN? を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。
ディスプレーに Fade In > XXs (1~30を選択可能) と表示されます。
ここではフェードインの時間を設定できます。
2. MULTI JOGダイヤルを回して、フェードインの時間を設定します。
3. メニューモードからノーマルモードに戻るには、MENUボタンまたはMULTI JOGダイヤルを押します。
手順1.でメニュー項目 FADE OUT? を選べば、同じ要領でフェードアウトの時間を設定できます。

4. フェードインを行うときは、録音待機中にリモコンのFADERボタンを押します。



フェードインと同時に録音が始まり、ディスプレーには Fade In と表示されます。

5. フェードアウトを行うときは、録音中にリモコンのFADERボタンを押します。
フェードアウトが始まり、無音状態になったところで録音が停止します。フェードアウトを行っている間、ディスプレーには Fade Out と表示されます。

メモ

- フェードイン中のフェードアウト、フェードアウト中のフェードインも可能です。
- フェードイン／アウト機能は、リモコンからのみ操作できます。

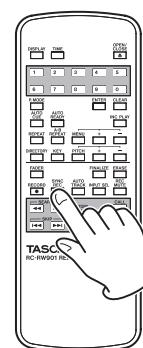
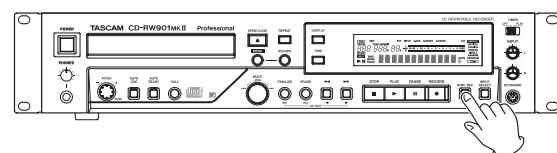
シンク録音

シンク録音とは、一定レベル（シンクレベル）以上の信号が入力されたときに自動的に録音が始まり、終わりの無音部分を検出して自動的に録音が終わる録音です。

メモ

この取扱説明書では、現在設定されているシンクレベル以下の音を「無音」と呼びます。

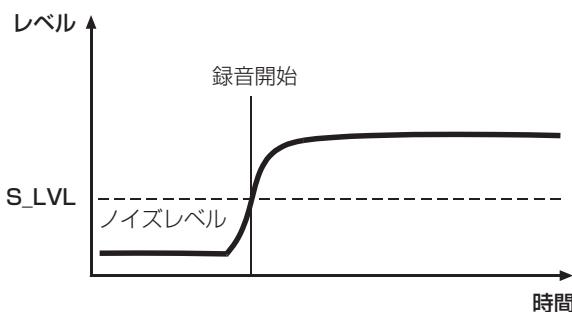
1. 録音待機状態にした後で (→ 29ページ「録音の基本操作」)、SYNC RECボタンを押し、ディスプレーに Sync ON を表示させます。



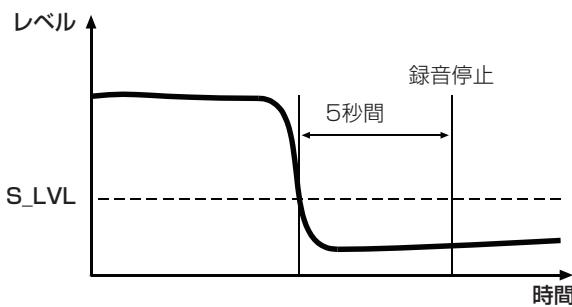
ディスプレーの [SYNC] インジケーターが点灯して、シンク録音待機状態となります。

2. 必要ならば、以下の要領でシンクレベルを設定します。
- ① 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー項目 SYNC LEVEL? を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。ディスプレーに S_LVL > XXXdB と表示されます。
 - ② MULTI JOGダイヤルを回して、シンクレベルを設定します。設定範囲は、-24dB～-72dB(6dBステップ)です。
 - ③ MULTI JOGダイヤル(またはリモコンのENTERボタン)を押して、メニュー mode を抜けます。

3. 入力ソース機器の再生を開始します。
- 入力ソース機器の再生開始後、手順2.で設定したレベル以上の入力を検出すると自動的に録音を開始します。ただし、シンクレベル設定値以下の入力が1秒以上ない場合、入力を検出しても録音は開始されません。



5秒間無音が続くと、自動的に録音待機状態になります。

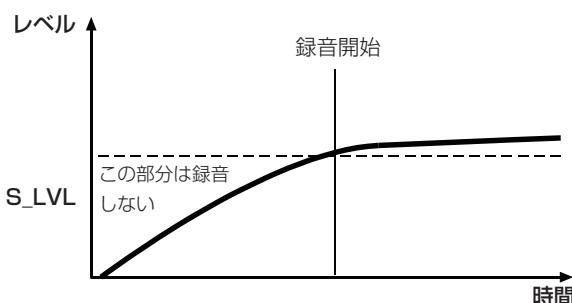


4. シンク録音を解除するには、SYNC RECボタンを押し、SyncOFFを選択してください。

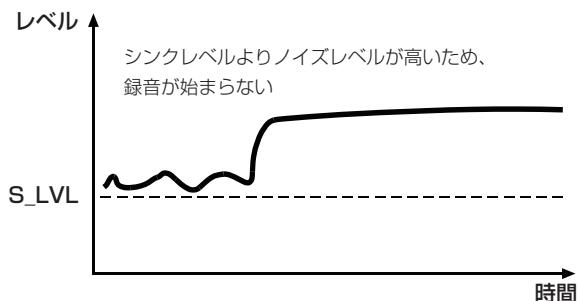
メモ

シンク録音の設定はバックアップされています。

シンクレベルの設定が高すぎると、小さい音から始まる曲の始めの部分が欠けてしまうことがあります。



反対に、シンクレベルの設定が低すぎると、アナログソースなどのノイズレベルがシンクレベルより高くなってしまい、シンク録音が始まらないことがありますので、ご注意ください。



シンクトリム機能

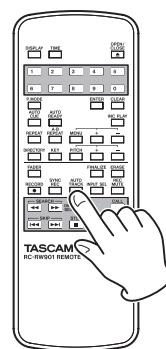
シンク録音開始ポイントから設定した時間だけずらして録音を始める方法(シンクトリム機能)について説明します。

1. 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 REC? → SYNC TRIM? 項目を選択します。ディスプレーに S_Trim > XXX (-125f～+125f (フレーム)) を選択可能) が表示されます。
2. MULTI JOGダイヤル(またはリモコンのMENU (+/-) ボタンとENTERボタン)を使って、録音開始ポイントからずらす時間量を設定します。
3. シンク録音の操作手順にしたがって、録音を開始します。

オートトラック録音

オートトラック録音とは、設定された条件を満たしたときに、トラック番号を自動更新する機能です。

1. リモコンのAUTO TRACKボタンを押して、オートトラックのモードを選択します。



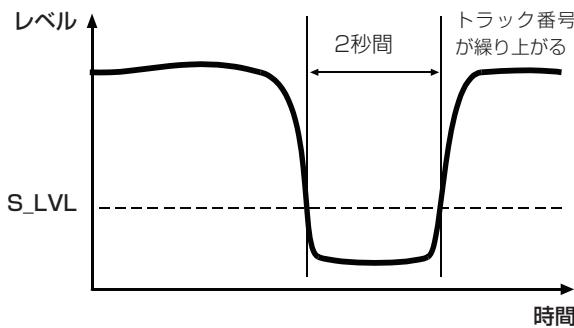
選択できるモードは、次の通りです。

Level

オートトラック動作レベル以下の信号が2秒以上続いた後で、信号が動作レベルを超えるとトラック番号が更新されます。オートトラック動作レベルは、サブメニュー内の A_TRACK LEVEL? 項目を使って設定します。設定範囲は、-24dB～-72dB (6dBステップ) です。

設定が有効になると、ディスプレーの A TRACK インジケーターが点灯します。

第5章 録音



DD

デジタルソース (CD、DAT、MD) を録音するときに、ソース側のトラックの区切りを検出し、トラック番号が更新されます。

設定が有効になると、ディスプレーの **A TRACK** インジケーターが点灯します。

ただし、DDが選ばれているときでも、アナログソース録音時、または上記以外のデジタルソース録音時には、上記の **Level** 設定の場合と同じように、入力レベルに応じてトラック番号が更新されます。

Time (タイムトラックインクリメント)

オートトラック動作が一定時間経過するたびにトラック番号が更新されます。

トラック番号が更新する間隔は、サブメニュー内の **A TRK TIME?** 項目を使って設定します。設定範囲は、1m~10m (1minステップ) です。

設定が有効になると、録音中（または録音待機中）にディスプレーの **A TRACK** インジケーターが点滅します。

2. 録音を開始します。

オートトラックの設定にしたがって、トラック番号が自動更新されます。

メモ

- リモコンの **AUTO TRACK** ボタンを押す代わりにメニュー項目 **REC? → A TRK?** 項目で、オートトラックのモードを選択することもできます。
- 録音中に、**A TRK TRIM?** 項目の設定値が変更された場合、変更後の設定値は次のトラックから有効になります。

オートトラックトリム機能

オートトラックのモードが **Level** または **DD** のとき、録音開始ポイントから設定した時間だけずらして録音を始める方法（オートトラックトリム機能）について説明します。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 **REC? → A TRK TIME?** 項目を選択します。
ディスプレーに **A Trim? XXX (-125f~+125f (フレーム))** を選択可能) が表示されます。
- MULTI JOG** ダイヤル（またはリモコンの **MENU (+/-)** ボタンと **ENTER** ボタン）を使って、録音開始ポイントからずらす時間量を設定します。

メモ

オートトラックのモードが **Time** のときは、**A TRK TIME?** 項目で設定した値が優先されるため、この機能の設定値は使用されません。

インデックス番号の自動機能

オートトラック録音時、トラック番号の代わりにインデックス番号を更新する方法について説明します。

- 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 **REC? → INDEX INC?** 項目を選択します。
ディスプレーに **INC? XXX (ON / OFFを選択可能)** が表示されます。
 - MULTI JOG** ダイヤル（またはリモコンの **MENU (+/-)** ボタンと **ENTER** ボタン）を使って、**INDEX INC** のオン／オフを切り替えます。
オンにすると、オートトラックのモードで指定した条件に応じてインデックス番号を更新します。このときトラック番号は更新されません。
- メモ**
- 1トラック内に付けられるインデックスの数は最大99です。
このため、インデックス番号が99のときにはトラック番号が更新され、インデックス番号は1に戻ります。この後、新しいトラック内で99まで順次インデックス番号が更新されます。
 - INDEX INC** がONの場合、録音（または録音待機中）にディスプレーのキャラクター表示部に **Index XX** (XX はインデックス番号) が表示されます。

トラック番号を手動で更新する

手動でトラック番号を更新するには、次のように操作します。
トラック番号を付けたい位置で **RECORD** ボタンを押します。
トラック番号が更新されます。

注意

トラック更新から4秒未満、または99トラック録音中は、ボタン操作は受け付けません。

インデックス番号を手動で更新する

手動でインデックス番号を更新するには、次のように操作します。

インデックス番号を付けたい位置で、フロントパネル（またはリモコン）の **CALL** ボタンを押します。
ディスプレーのキャラクター表示部に **Index XX** (XX はインデックス番号) が表示されて、インデックス番号が更新されます。

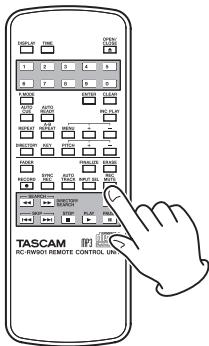
メモ

- 1トラック内に付けられるインデックスの数は最大99です。
- インデックス番号99の時の手動の更新は、無視されます。

レックミュート

無音録音部分を簡単につくることができます。

これを行うには、録音中にリモコンのREC MUTEボタンを押します。



ディスプレーに Rec Mute が表示され、無音録音が始まります。約4秒後に録音待機状態になります。

メモ

レックミュート機能は、リモコンからのみ操作できます。

録音トラック数の指定

録音中にMULTI JOGダイヤルを回すと、録音するトラック数を指定できます。

ディスプレーに録音するトラックの数が表示され、指定されたトラック数の録音が終了すると停止状態になります。

メモ

指定できるトラック数は、最大99です。

コピー IDの設定

録音するトラックのコピー IDを設定する方法について説明します。

1. 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 REC? → COPY ID? 項目を選択します。

ディスプレーに Copy> XXX が表示されます。

2. 次の中からコピー IDの種類を選択します。

● Free

録音するトラックにコピー制限を付けません。

● 1Gen

録音するトラックから一世代に限りデジタルコピーを許可します。

● Prohi

録音するトラックからのデジタルコピーを禁止します。

● Origin

録音するトラックは、デジタルコピールール（SCMS）にしたがって記録されます。

メモ

コピー IDは、トラック単位で設定可能です。ただし、録音中は設定を変更できません。

連続録音 (CONT REC)

CD-RW901MKIIを2台使用して連続録音が可能となります。

1. 2台のCD-RW901MKIIのパラレルポート同士を接続します。

1台目	2台目
EOM Tarry (5ピン)	FADER START/STOP (11ピン)
FADER START/STOP (11ピン)	EOM Tarry (5ピン)
GND (8ピン)	GND (8ピン)

2. 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 REC? → CONT REC? 項目を選択します。

ディスプレーに Cont Rec> XXX が表示されます (OFF、30s,60s,90sを選択可能)。

OFF

連続録音は行えません。

Xxs

CONT REC設定が オンとなります。

録音中のディスクの残り時間がxx秒（設定時間）未満になると、録音開始要求信号を出力します。（設定時間の間、2台とも録音状態となります。）

メモ

両機の設定同じにするなどをおすすめいたします。

3. それぞれに入力信号（録音ソース）を接続します。

4. → 29ページ「録音の基本操作」を参考に、一方の機器のみ録音を開始します。（もう一方の機器は停止状態とします。）CONT RECオンでの録音または録音待機中は、ディスプレーに Cont Rec が表示されます。

5. 録音中の機器は、録音中のディスクの残り時間が設定値未満になると、待機中の機器に録音開始要求信号を出力します。

6. 待機中の機器は、録音開始要求信号を受信すると録音を開始します。

メモ

- 停止状態からの録音では、ディスプレーに Now OPC が表示され、OPC実行後に録音を開始します。

- 両機が録音状態となる時間には、OPC実行時間も含まれておりますので、余裕を持った設定時間を選択するなどをおすすめいたします（OPC実行時間は、ご使用されるディスクにより異なります）。

- 待機中の機器は、停止状態以外に録音待機状態で待機させることも可能です。

注意

長時間、録音待機状態のままで放置するなどは、機器の寿命を短める恐れもあります。停止状態での待機をおすすめいたします。

7. 連続録音を継続する場合、録音が終了した機器のディスクを新しい物に交換します。

5.~7.を繰り返すことにより、長時間の連続録音が可能となります。

注意

- 録音トラック数の指定を行うと、録音開始要求信号が出力されません。録音トラック数の指定は行わないでください。

- 2台を接続し、CONT REC設定がオンのまま電源を切れると、録音可能なディスクを入れたままで再度電源をオンしたときに録音を開始してしまいます。誤って録音を行わないように、録音可能なディスクを入れたままで電源を切らないようにご注意ください。

- 2台を接続したまま、再生時のEOMタリーが出力されると、誤って録音を開始してしまいます。EOMを使用する場合には、2台の接続を外すか、CONT REC設定をオフにしてください。

第6章 CD-R/CD-RWディスクの各種操作

注意

- ファイナライズ、アンファイナライズ、リフレッシュ、ディスク／トラック消去中は誤って電源を切ってしまわないように、注意してください。ディスク情報が不正になるばかりではなく、ディスク自体が使用できなくなる恐れがあります。
- リフレッシュ、ディスク／トラックの消去により、消去したディスク／トラックの内容は永久に失われます。誤って大事なディスク／トラックを消去してしまわないように、慎重に行ってください。

ここでは、録音済みCD-R／CD-RWを一般的なCDプレーヤーで再生できるようにするファイナライズや、CD-RWの全トラックまたは一部のトラックを消去する方法など、CD-R／CD-RWの各種操作について説明します。

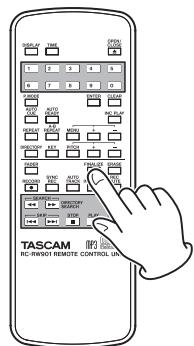
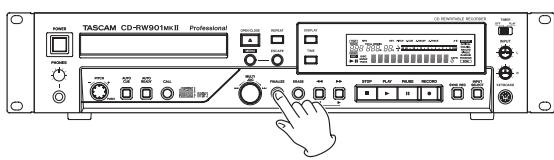
ファイナライズ

ファイナライズとは、TOC（曲数や各曲の演奏開始時間など、録音したデータの情報）をCD-R/CD-RWメディアに記録する操作のことです。

本機で録音したディスクは、最終的なTOCをディスクに記録するまで、一般的なCDプレーヤーでは再生できません（ファイナライズ処理を行う前でも、本機で再生することは可能です）。

通常、ファイナライズ処理したCD-R/CD-RWメディアは、新たに追加録音できなくなります。ただし、CD-RWの場合は、アンファイナライズと呼ばれる処理を行えば、再び録音できるようになります。

1. ディスクトレーに録音済みのCD-R/CD-RWメディアを挿入します。
2. 停止状態で、フロントパネルのFINALIZE [INS] ボタン、またはリモコンのFINALIZEボタンを押します。



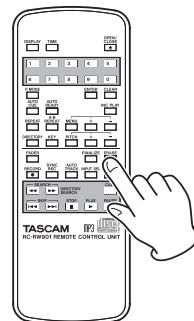
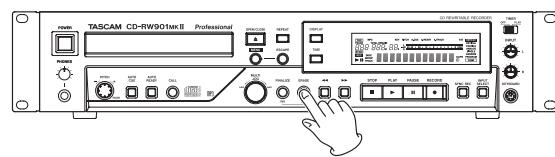
- ディスプレーにFINALIZE?と表示されます。
操作を取り消すには、FINALIZE [INS] ボタン（リモコンの場合はFINALIZEボタン）をもう一度押します。
3. MULTI JOGダイヤルを押します（リモコンの場合はENTERボタンを押します）。
ディスプレーにSure?と表示されます。
操作を取り消すには、STOPボタンを押します。

4. 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイヤルを押します（リモコンの場合はENTERボタンを押します）。
ファイナライズが始まり、ディスプレーに TOC X:XX と予想終了残り時間が表示されます。
ファイナライズが終了すると Complete と表示されます。
なお、ファイナライズ処理中は、ボタン操作を一切受け付けません。

アンファイナライズ

アンファイナライズとは、ファイナライズ済みのCD-RWメディアに追加録音できるようにする操作です。

1. ディスクトレーにファイナライズ済みのCD-RWメディアを挿入します。
2. 停止状態でフロントパネルのERASE [DEL] ボタン（またはリモコンのERASEボタン）を押し、MULTI JOGダイヤル（リモコンの場合はMENU (+/-) ボタン）でUNFINALIZE?を選択します。



操作を取り消すには、ERASE [DEL] ボタン（リモコンの場合はERASEボタン）をもう一度押します。

3. MULTI JOGダイヤルを押します（リモコンの場合はENTERボタンを押します）。
ディスプレーにSure?と表示されます。
操作を取り消すには、STOPボタンを押します。
4. 操作を実行するには、もう一度MULTI JOGダイヤルを押します（リモコンの場合はENTERボタンを押します）。
アンファイナライズが始まり、ディスプレーにErase X:XX と予想終了残り時間が表示されます。
アンファイナライズが終了すると、Complete と表示されます。

リフレッシュ

停電などが原因でファイナライズの途中で強制終了したディスクや、パソコンで使用したディスクは、本機で認識できないことがあります。このような場合は、以下の操作でディスクをリフレッシュすると、認識できるようになります。

1. CD-RWメディアを挿入します。
2. 停止状態でフロントパネルの**ERASE [DEL]** ボタン（またはリモコンの**ERASE**ボタン）を押し、**MULTI JOG**ダイヤル（リモコンの場合は**MENU (+/-)** ボタン）で**REFRESH?** を選択します。
操作を取り消すには、**ERASE [DEL]** ボタン（リモコンの場合は**ERASE**ボタン）をもう一度押します。
3. **MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
ディスプレーに **Sure?** と表示されます。
操作を取り消すには、**STOP**ボタンを押します。
4. 操作を実行するには、もう一度**MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
リフレッシュが始まり、ディスプレーに **Erase XX-XX** と予想終了残り時間が表示されます。
リフレッシュが終了すると、**Complete** と表示されます。

ディスクの消去

CD-RWに録音された全てのトラックを消去し、白紙の状態から録音できるようにします。

1. 録音済みのCD-RWメディアをセットします。
2. 停止状態でフロントパネルの**ERASE [DEL]** ボタン（またはリモコンの**ERASE**ボタン）を押し、**MULTI JOG**ダイヤル（リモコンの場合は**MENU (+/-)** ボタン）で**ERASE DISC?** を選択します。
操作を取り消すには、**ERASE [DEL]** ボタン（リモコンの場合は**ERASE**ボタン）をもう一度押します。
3. **MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
ディスプレーに **Sure?** と表示されます。
操作を取り消すには、**STOP**ボタンを押します。
4. 操作を実行するには、もう一度**MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
ディスクの消去が始まり、ディスプレーに **Erase XX-XX** と予想終了残り時間が表示されます。
ディスクの消去が終了すると、**Complete** と表示されます。

トラックの消去

録音されたCD-RWメディアから、指定したトラックから最後のトラックまでを消去します。

1. 録音済みのCD-RWメディアをセットします。
2. 停止状態でフロントパネルの**ERASE [DEL]** ボタン（またはリモコンの**ERASE**ボタン）を押し、**MULTI JOG**ダイヤル（リモコンの場合は**MENU (+/-)** ボタン）を回し **ERASE TRACK?** を選択します。
操作を取り消すには、**ERASE [DEL]** ボタン（リモコンの場合は**ERASE**ボタン）をもう一度押します。
3. **MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
ディスプレーに **Erase XX-XX**（消去開始トラックー最終トラック）が表示されます。
操作を取り消すには、**ERASE [DEL]** ボタン（リモコンの場合は**ERASE**ボタン）を押します。
4. **MULTI JOG**ダイヤル（リモコンの場合は**MENU (+/-)** ボタン）で消去開始トラックを選択します。
操作を取り消すには、**ERASE [DEL]** ボタン（リモコンの場合は**ERASE**ボタン）を押します。
5. **MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
ディスプレーに **Sure?** と表示されます。
操作を取り消すには、**STOP**ボタンを押します。
6. 操作を実行するには、もう一度**MULTI JOG**ダイヤルを押します（リモコンの場合は**ENTER**ボタンを押します）。
トラックの消去が始まり、ディスプレーに **Erase XX-XX** と予想終了残り時間が表示されます。
トラックの消去が終了すると、**Complete** と表示されます。

メモ

トラックの消去は再生モード **Continue** でしか実行できません。

第7章 名前を付ける

サブメニュー項目の TEXT EDIT? を使って、ディスクとトラックに名前を付けることができます。

メモ

名前を設定した後、ファイナライズを行わずに電源を切ると、TOCが記録されず、付けた名前が無効になります。
TOCを記録するには、ファイナライズを実行してください。

ディスクに名前を付ける

CD-R / CD-RWに固有の名前を付けます。

- 停止状態で、15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー TEXT EDIT? 項目を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。
ディスプレーに Text>XXXX (Disc、または01~99のトラック番号が選べます) と表示されます。
- MULTI JOGダイヤルを押して、MULTI JOGダイヤルを回して（リモコンの場合はMENU (+/-) ボタンを押して）、Text> Disc を選択します。
- MULTI JOGダイヤルを押します（リモコンの場合はENTERボタンを押します）。
キャラクター表示部に現在のディスク名が表示され、名前編集モードになります（カーソルが点滅します）。
- 以下の要領にしたがって名前を付け、本体のMENUボタン（またはリモコンのMENUボタン）を押して確定します。

名前編集モードでは、以下の要領で名前を付けます。

入力する文字種を選択するには

本体またはリモコンのDISPLAYボタンを押すと、以下の2通りの文字種が切り換わります。

- 英小文字／記号（ディスプレーに無表示）
- 英大文字／記号（ディスプレーに CAPS が点灯）

文字を入力するには

MULTI JOGダイヤル（リモコンの場合はSKIP（◀◀ / ▶▶）ボタン）で文字を選択し、MULTI JOGダイヤルを（リモコンの場合はENTERボタン）を押して確定します。

カーソルを移動するには

本体の◀◀ [◀] / ▶▶ [▶] ボタンを使用します。
◀◀ [◀] ボタンを押すとカーソル位置が左に移動し、▶▶ [▶] ボタンを押すと右に移動します。

リモコンのSEARCH（◀◀ / ▶▶）ボタンでもカーソルの移動が行えます。

文字を削除するには

削除したい文字にカーソルを合わせてERASE [DEL] ボタン（リモコンの場合はERASEボタン）を押します。

文字を挿入するには

挿入したい位置にカーソルを置き、FINALIZE [INS] ボタン（リモコンの場合はFINALIZEボタン）を押します。

文字を修正するには

修正したい文字にカーソルを合わせて、希望の文字を入力します。

テキストを編集後、TOCを記録しないままディスクを取り出そうとすると、Sure? Text! と表示されます。

TOCを記録しないままディスクを取り出す場合は、Sure? Text! 表示中に、再度OPEN/CLOSEボタンを押してください（入力したテキストは失われます）。

トラックに名前を付ける

CD-R / CD-RWに録音されたトラックに固有の名前を付けます。

- 停止状態で、15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、サブメニュー TEXT EDIT? 項目を表示させ、MULTI JOGダイヤルを押します。
ディスプレーに Text>XXXX (Disc、または01~99のトラック番号が選べます) と表示されます。
- MULTI JOGダイヤルを押して（リモコンの場合はENTERボタンを押し）、MULTI JOGダイヤルを回して（リモコンの場合はMENU (+/-) ボタンを押して）、01~99のトラック番号を選びます。
- MULTI JOGダイヤルを押します（リモコンの場合はENTERボタンを押します）。
キャラクター表示部に現在のトラック名が表示され、名前編集モードになります（カーソルが点滅します）。

メモ

現在名前がない場合は、何も表示されません（カーソル点滅のみ）。

- ディスク名と同様の操作で名前を付け、本体のMENUボタン（またはリモコンのMENUボタン）を押して確定します。

テキストを編集後、TOCを記録しないままディスクを取り出そうとすると、Sure? Text! と表示されます。

TOCを記録しないままディスクを取り出す場合は、Sure? Text! 表示中に、再度OPEN/CLOSEボタンを押してください（入力したテキストは失われます）。

第8章 コンピュータキーボードを使った操作

IBM PC互換機用、PS/2インターフェースのキーボードを、本機フロントパネルの**KEYBOARD**端子に接続することにより、キーボードを使って本機を操作することができます。
各種コントロールが可能ですが、特に名前の入力を効率的に行うことができます。

キーボードタイプの設定

接続するキーボードに合わせて、キーボードタイプを選択します。
メニュー項目SYSTEM内のサブメニュー **KEYBOARD?** 項目を使って、タイプを選択します。

日本語対応キーボードの場合、**JP** を選択します。
英語対応キーボードの場合、**US** を選択します。

キーボードを使って名前を入力する

パソコンの文字入力と同じ感覚で、ディスク名、トラック名を入力することができます。

タイトル編集メニューに入るには：

SHIFT + F8キーで、ディスク／トラックタイトル編集メニューに入ります (Text > ## を表示)。

入力する文字種を選択するには：

CAPSキー：「英大文字」を選択／解除します。

解除のとき：「英小文字」になります。

入力するには：

数字キー、文字キーで直接入力

カーソルを移動するには：

← / → キーを使います。

文字を削除するには：

Deleteキー : カーソル位置の文字を削除します。

Back Spaceキー : カーソル手前の文字を削除します。

文字を挿入するには：

希望の位置でInsertキーを押します。

文字を修正するには：

カーソルを合わせて上書きします。

キーボード操作一覧

名前の入力だけでなく、トランSPORTコントロール、編集など、各種動作をキーボードからコントロールすることができます。
以下に、キーボードのキーの機能をまとめておきます。

キーボードのキー	動作
F1キー	◀◀ボタンと同じ
F2キー	▶▶ボタンと同じ
F3キー	キーコントロール機能のオン／オフを行います
F4キー	STOPボタンと同じ
F5キー	PLAYボタンと同じ
F6キー	PAUSEボタンと同じ
F7キー	AUTO CUEボタンと同じ
F8キー	RECORDボタンと同じ
F9キー	AUTO READYボタンと同じ
F10キー	REPEATボタンと同じ
F11キー	リモコンのP.MODEボタンと同じ
F12キー	PITCHつまみ、およびボタンと同じ
SHIFT + F1キー	ERASE TRKへ
SHIFT + F2キー	ERASE DISCへ
SHIFT + F3キー	REFRESHへ
SHIFT + F4キー	
SHIFT + F5キー	
SHIFT + F6キー	
SHIFT + F7キー	
SHIFT + F8キー	TEXT EDITへ
SHIFT + F9キー	
SHIFT + F10キー	
SHIFT + F11キー	UNFINALIZEへ
SHIFT + F12キー	FINALIZEへ
CTRL + F1キー	ダイレクトトラックサーチトラック1
CTRL + F2キー	ダイレクトトラックサーチトラック2
CTRL + F3キー	ダイレクトトラックサーチトラック3
CTRL + F4キー	ダイレクトトラックサーチトラック4
CTRL + F5キー	ダイレクトトラックサーチトラック5
CTRL + F6キー	ダイレクトトラックサーチトラック6
CTRL + F7キー	ダイレクトトラックサーチトラック7
CTRL + F8キー	ダイレクトトラックサーチトラック8
CTRL + F9キー	ダイレクトトラックサーチトラック9
CTRL + F10キー	ダイレクトトラックサーチトラック10
CTRL + F11キー	ダイレクトトラックサーチトラック11
CTRL + F12キー	ダイレクトトラックサーチトラック12
CAPSキー	「英大文字」を選択／解除
数字キー／文字キー	数字文字の入力
← / → キー	カーソルを移動
Deleteキー	ERASE [DEL] ボタンと同じ
Back Spaceキー	カーソル手前の文字を削除
Insertキー	FINALIZE [INS] ボタンと同じ
ESCキー	編集／タイトル編集をキャンセルしてメニュー mode を終了
Enterキー	ENTERボタンと同じ

第9章 通信設定

本機のCONTROL I/O (RS-232C) 端子をパソコンのRS-232C端子と接続することにより、パソコンと本機の間でデータの転送を行うことができます。
通信に関する設定は、次の手順で行います。

- 1 15ページ「メニュー操作の基本」を参考に、メニュー項目 SYSTEM? を選択します。
- 2 MULTI JOGダイヤル（またはリモコンのMENU (+/-) ボタンとENTERボタン）を使って、設定したい項目を選択します。

BAUD RATE?

ポーレート（通信速度）の設定を行います。
4800、9600、19200、38400 (bps) の中から選択します（初期設定：19200）。

LENGTH?

通信データ長の設定を行います。
7 または 8 (ビット) に設定します（初期設定：8）。

PARITY?

通信パリティビットの設定を行います。
NONE、EVEN、ODD の中から選択します（初期設定：NONE）。

STOP BIT?

通信ストップビットの設定を行います。
1 または 2 (ビット) に設定します（初期設定：1）。

- 3 MULTI JOGダイヤル（またはリモコンのMENU (+/-) ボタンとENTERボタン）を使って、設定値を変更します。

メモ

本機のRS-232Cコマンドプロトコルにつきましては、弊社のカスタマーサポートまでお問い合わせください。

エラーメッセージ

以下のエラーメッセージが表示されたときは、STOPボタンを押してから原因を解消してください。それでも改善しない場合は、ティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。

メッセージ	内容
Can't Rec!	録音できません。ディスクの内容を消去するか（CD-RWの場合）、録音可能なディスクに交換してください。
Disc Error!	ディスクに何らかの問題があります。ディスクを交換してください。
Disc Full!	録音用ディスクに録音可能な時間、またはトラックがないため、録音できません。
Text Full!	文字数が上限に達しました。
Sure? Text!	TEXT編集後、ファイナライズせずにトレーをオープンしようとしています。問題なければ再度OPEN/CLOSEボタンを押してください。
Drive Error!	CD-RWドライブに問題があります。
D-IN UNLOCK!	DIGITAL IN 端子にデジタル機器が接続されていません（または接続されたデジタル機器の電源がオフになっています）。 デジタル機器の接続と電源をお確かめください。
Not Audio!	DIGITAL IN 端子からの入力信号がオーディオ信号ではありません。
Erase Error!	消去中にエラーが発生しました。
Not Fs44.1k!	デジタル入力のサンプリング周波数が44.1kHzではありません。SRCをオンにしてください。
PGM Empty!	プログラムされていません。
PGM Full!	既に99曲プログラムされています。
Can't Edit!	操作の制限により、編集が実行できません。
Can't Sell!	選択禁止状態のため、メニューなどの選択ができません。
Rec Error!	録音中にエラーが発生しました。録音をやり直してください。
OPC Error!	OPCに失敗しました。録音をやり直してください。
NO DIR!	ファイルが存在するディレクトリがありません。
Decode Err!	MP3ファイルの再生に失敗しました。
Format Err!	本機では読み取り不可能な形式です。
EXT CLK Err!	INPUT SELECTで選択されている録音ソースからのデジタルの入力クロックに同期できません。クロック供給源となる機器との接続をお確かめください。
No Call PT!!	コールポイントが設定されていません。

動作時のメッセージ

メッセージ	内容
Blank Disc	何も録音されていないディスクがセットされています。
Complete	ファイナライズまたは消去などが完了しました。
Now OPC	最適な状態で録音するため、使用ディスクの特性に合わせてキャリブレーションを行っています。
Disc Repair	記録中に電源がオフになったなど、何らかの理由によりPMAが記録できなかったCD-Rメディアに対し、修復処理をしています。この処理は、記録された内容を全て確認するため非常に時間が掛かりますので、途中で電源をオフにしないでください。
PMA Writing (PMA = Program Memory Area)	録音した内容をディスクに記録しています。
TOC Reading	TOC情報を読み取り中です。
Incomplete!	ISRCコード、RIDコードの読み込みが完了していない、または存在しません。
48k Fs Adj	48kFsアジャスト機能がオンです。
Cont Rec	CONT REC機能がオンです。

第11章 ブラッシュアップ

本機の動作がおかしいときは、修理を依頼する前にもう一度、下記の点検を行ってください。
それでも改善しないときは、お買い上げ店またはティック修理工場（裏表紙に記載）にご連絡ください。

電源が入らない



- 電源プラグがしっかりと差し込まれていますか？

Disc Error! や OPC Error! が表示される



- ディスクが汚れていませんか？。ディスクを掃除するか交換してください。

再生できない



- 結露していませんか？

結露している場合はディスクを取り出して、電源をオフにして
約1~2時間放置してから電源を入れてください。

音が出ない



- モニターシステムとの接続をもう一度確認してください。また、
アンプの音量を確認してください。

録音できない



- 接続をもう一度確認してください。
- 録音レベルを調節してください。
- 再生専用のCDには録音できません。録音用CDと交換してください。

設定を変えたのに記憶されていない



- 本機では、モード設定を変更するたびにバックアップしています。電源を切るタイミングによってはバックアップに失敗してしまう場合がありますので、変更した直後に電源を切ることはおやめください。

雑音がする



- テレビなど強い磁気を帯びたものから十分離して設置してください。

定格

対応ディスク

CD、CD-R、CD-R-DA、CD-RW、CD-RW-DA
(12cm、8cm、CD-RWはHigh Speedに対応)

再生ディスクフォーマット

CD-DA、CD-ROM ISO9660 LEVEL1/2Joliet format、
マルチセッション対応、CDテキスト対応

再生ファイル形式

CD-DA : 44.1kHz、16bitステレオ
MP3 : 44.1kHz、64kbps ~ 320kbps、VBR

録音ファイル形式

CD-DA : 44.1kHz、16bitステレオ

オーディオ性能

再生周波数特性

20Hz~20kHz
±0.8dB (再生時)
±1.0dB (記録時)

S/N

95dB以上 (再生時)
90dB以上 (記録時)

ダイナミックレンジ

95dB以上 (再生時)
90dB 以上 (記録時)

歪率

0.006%以下 (再生時)
0.008%以下 (記録時)

チャンネルセパレーション

90dB以上 (再生時 : 1kHz)
80dB以上 (記録時 : 1kHz)

ワウフラッター

測定限界以下 (0.001%以下)

入出力定格

アナログ入力

バランス

コネクター : XLR-3-31相当
規定入力レベル : +4dBu (Full Scale -16dB)
最小入力レベル : -5dBu以上
(規定レベル(Full Scale -16dB)に調整可能な最小入力レベル)
入力インピーダンス : 14KΩ±5% (平衡)

アンバランス

コネクター : RCAピン
規定入力レベル : -10dBV (Full Scale -16dB)
最小入力レベル : -19dBV以上
(規定レベル(Full Scale -16dB)に調整可能な最小入力レベル)
入力インピーダンス : 22KΩ±10% (不平衡)

アナログ出力

バランス

コネクター : XLR-3-32相当
規定出力レベル : +4dBu (Full Scale -16dB)
最大出力レベル : +20dBu
出力インピーダンス : 75Ω±5% (平衡)
出力レベル調整範囲 : 最大出力レベルより-10dB

アンバランス

コネクター : RCAピン
規定出力レベル : -10dBV±2dB (Full Scale-16dB)
最大出力レベル : +6dBV±2dB
出力インピーダンス : 200Ω±10% (不平衡)

ヘッドホン出力

コネクター : ステレオ標準 (6.3φ)
最大出力 : 20mW以上 (32Ω負荷)

デジタル入力

COAXIAL

コネクター : RCAピン
フォーマット : IEC-60958コンシューマユース

OPTICAL

コネクター : TOSLINK
フォーマット : IEC-60958コンシューマユース

AES/EBU

コネクター : XLR-3-31相当
フォーマット : IEC-60958プロユース

入力可能サンプリング周波数 : 32kHz~48kHz

デジタル出力

COAXIAL

コネクター : RCAピン
フォーマット : IEC-60958コンシューマユース

OPTICAL

コネクター : TOSLINK
フォーマット : IEC-60958コンシューマユース

AES/EBU

コネクター : XLR-3-32相当
フォーマット : IEC-60958プロユース

コントロール入出力

CONTROL I/O PARALLEL

コネクター : D-SUB 15pin

CONTROL I/O RS-232C

コネクター : D-SUB 9pin

REMOTE IN端子

コネクター : RC-RW901専用

KEYBOARD

コネクター : Mini DIN 6pin

第12章 仕様

一般

電源

AC100V、50/60Hz

消費電力

17W

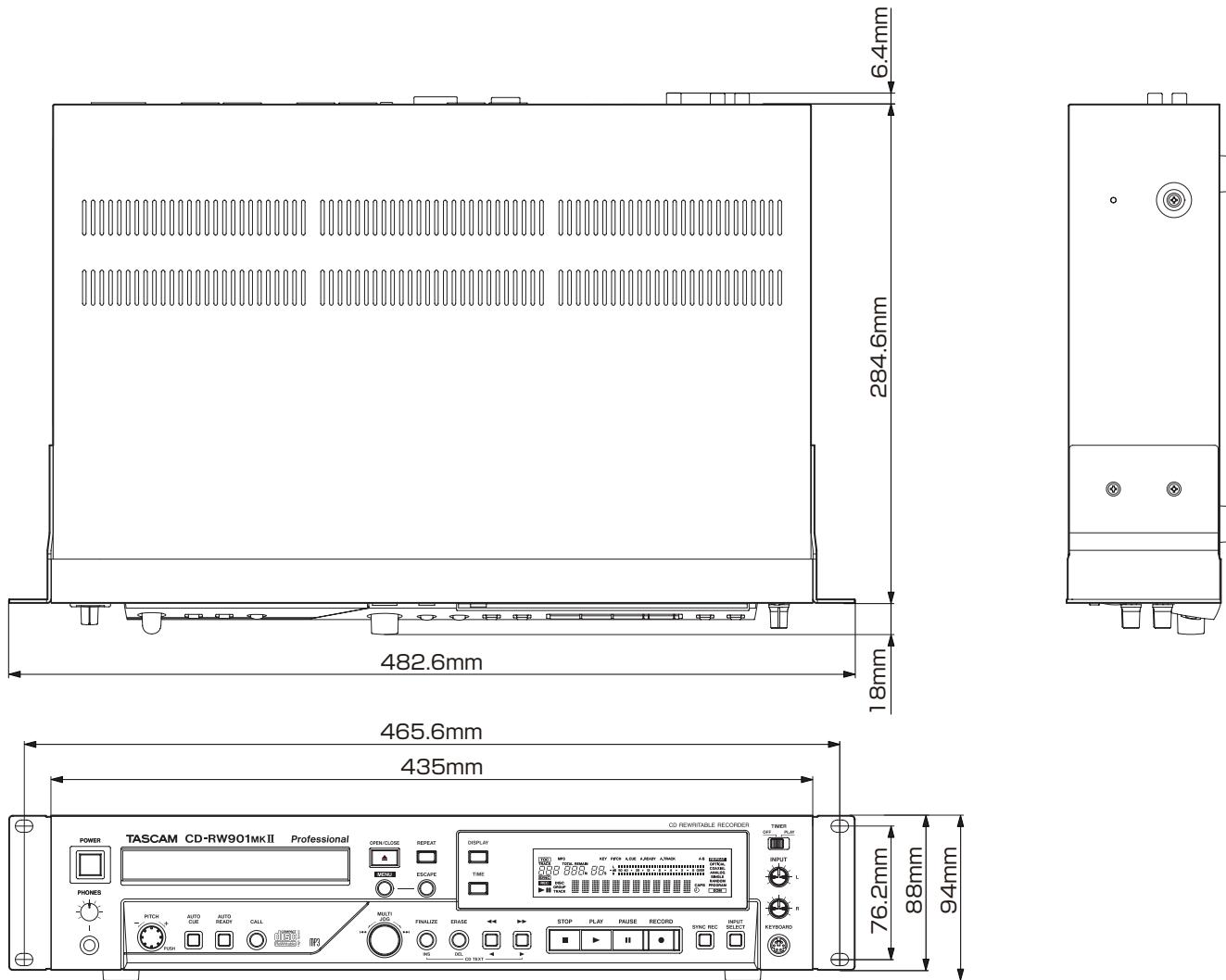
外形寸法

482.6 x 94 x 309mm (幅 x 高さ x 奥行き)

重量

4.5kg

寸法図



- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
- 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

無料修理規定（持ち込み修理）

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
- ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
- 次の場合には、保証期間内でも有料修理となります。
 - ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
 - 接続している他の機器に起因する故障および損傷
 - 業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷

- (6) メンテナンス
- (7) 本書の提示がない場合
- (8) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く
10:00~12:00／13:00~17:00です。

タスカム カスタマーサポート



0570-000-809

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47

電話：042-356-9137／FAX：042-356-9185

- ナビダイヤルは全国どこからお掛けになつても市内通話料金でご利用いただけます。PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号にお掛けください。

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。

お問い合わせ受付時間は、日・祝日・弊社休業日を除く9:30~17:00です。

ティアック修理センター



0570-000-501

〒358-0026 埼玉県入間市小谷田858

電話：04-2901-1033／FAX：04-2901-1036

- 新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることができます。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号にお掛けください。

- 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

Printed in China

保証書

品名 および 形名	CD-RW901MKII	
機番		
保証期間	本体	1年
お買い上げ日	年 月 日	
お客様	お名前	
	ご住所	

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

**見
本**

販売店	
電話	()